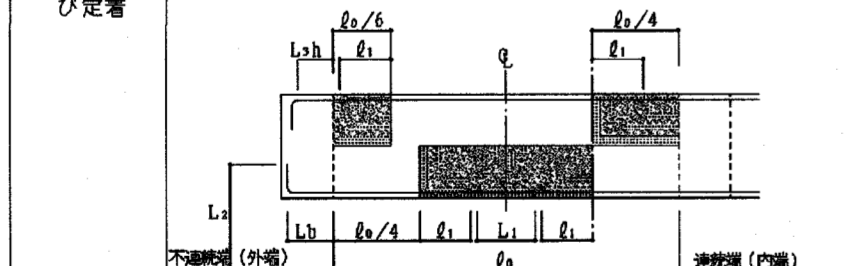
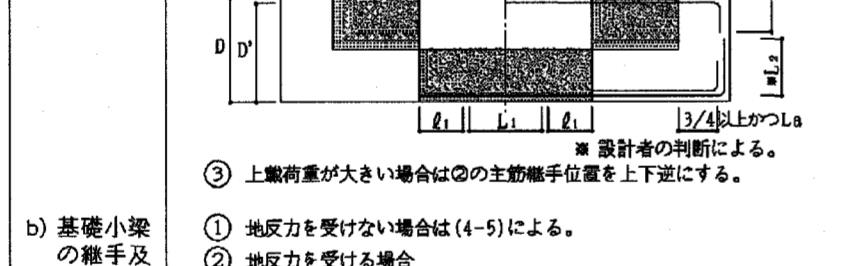
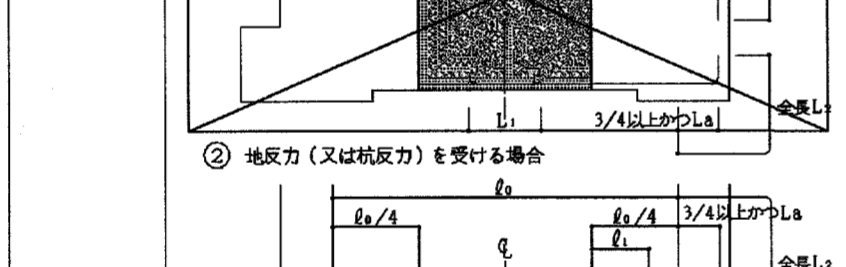
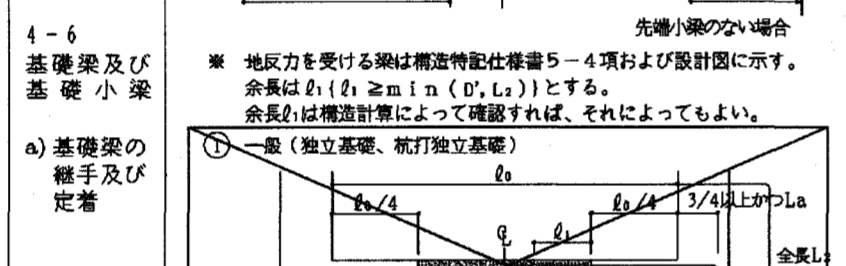
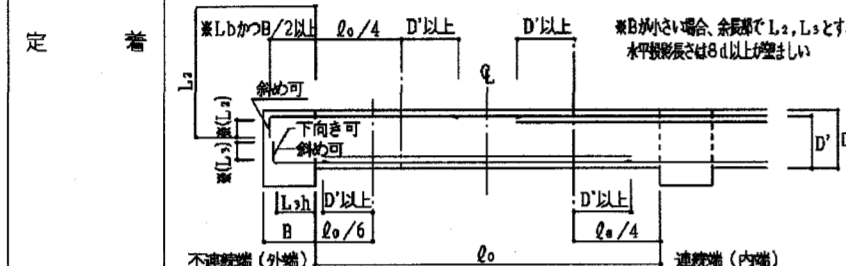
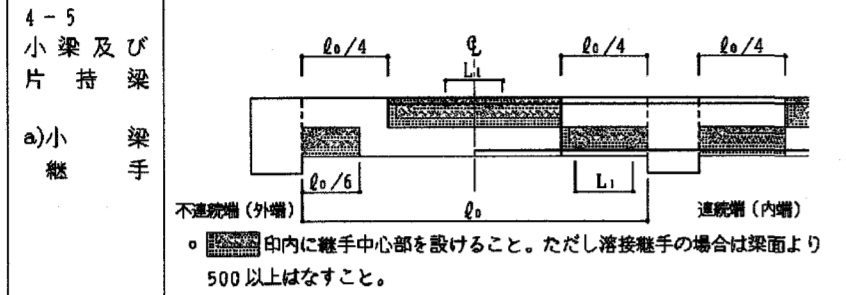
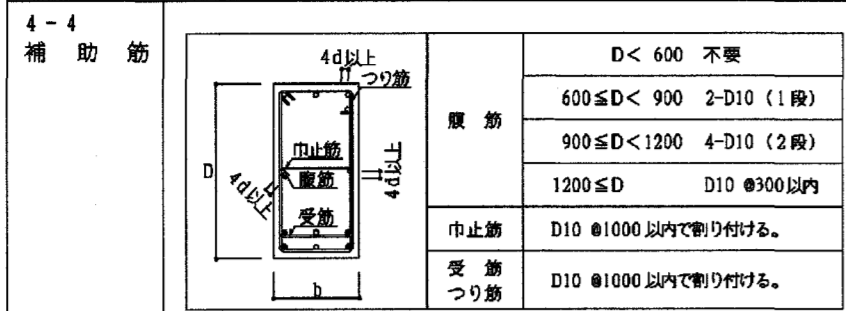
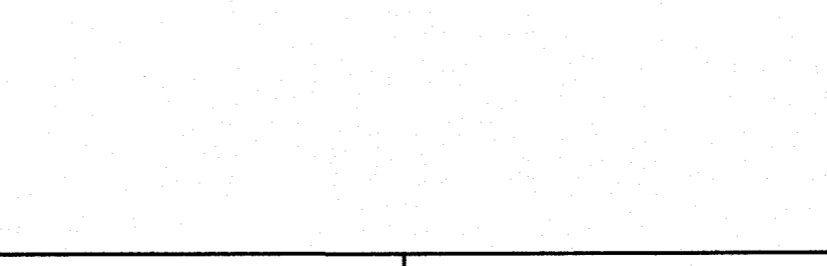
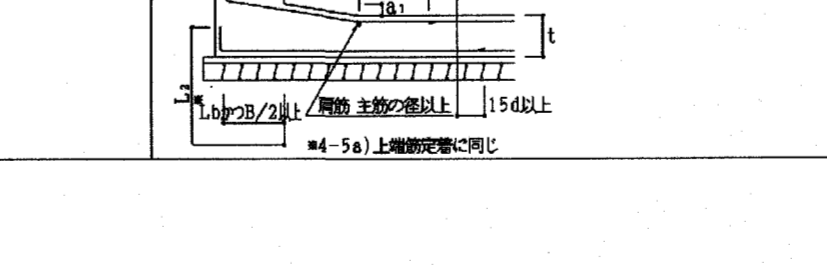
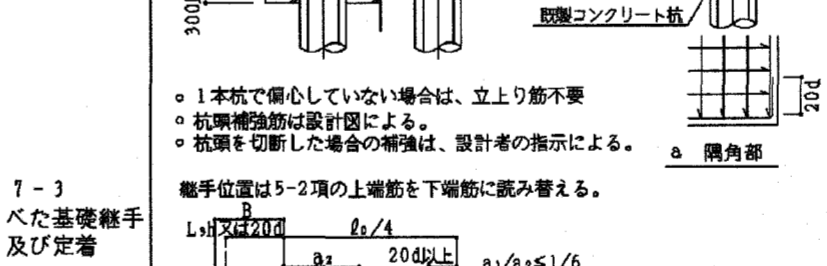
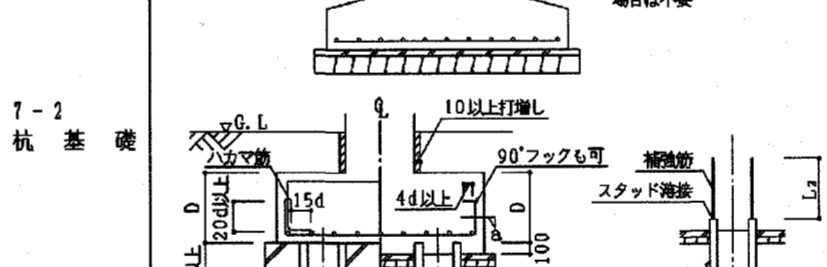
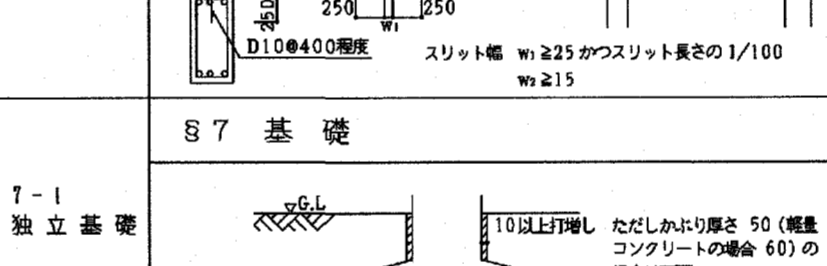
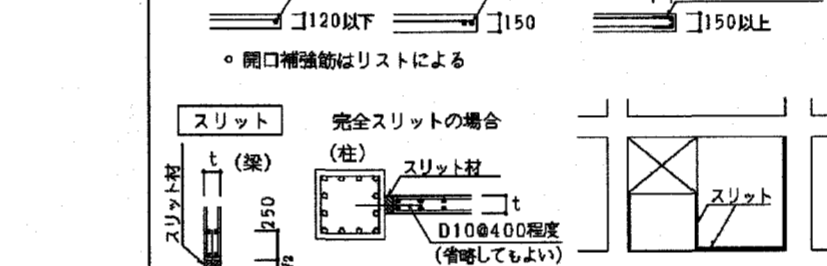
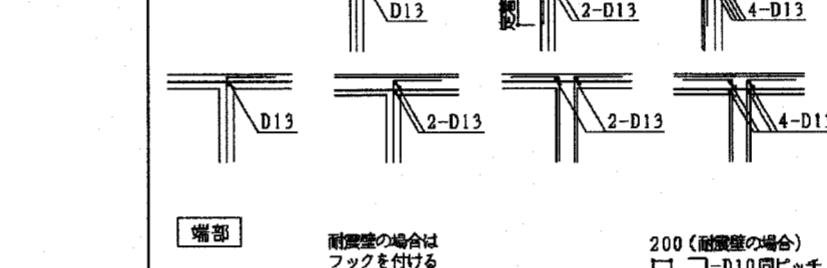
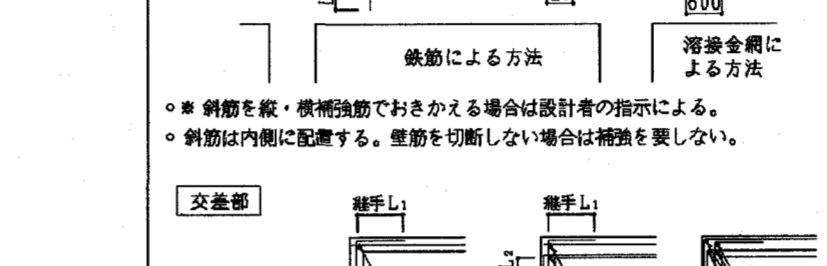
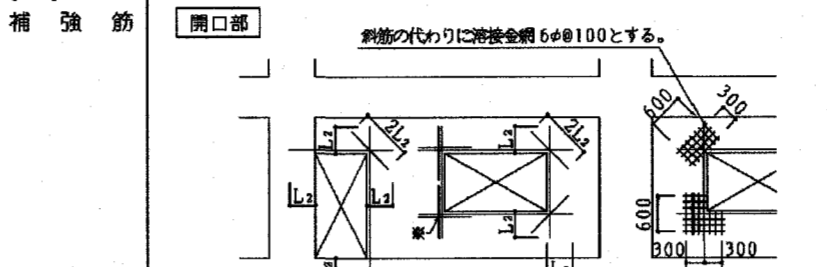
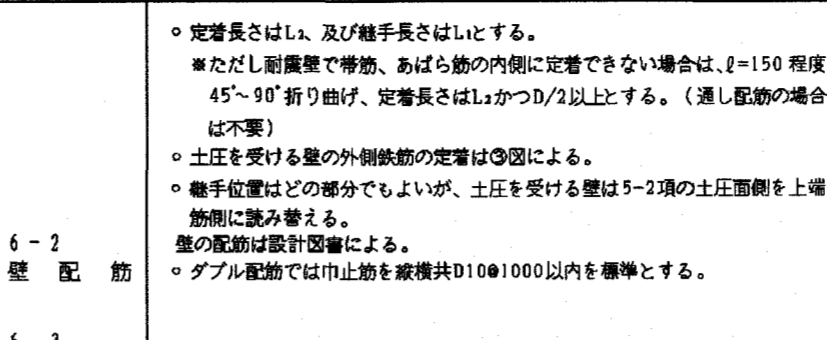
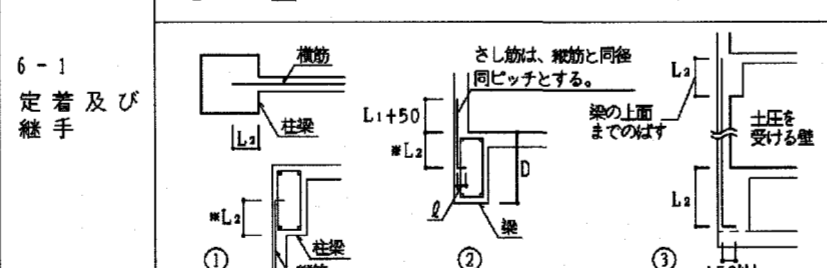
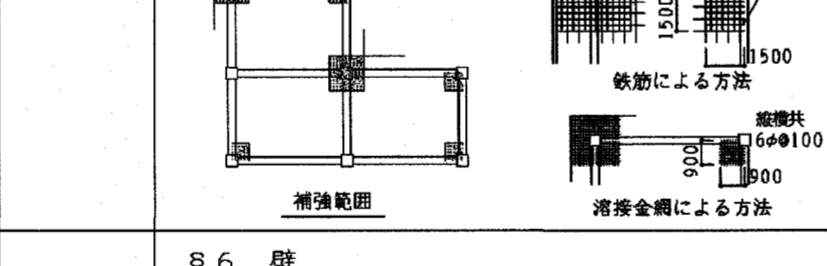
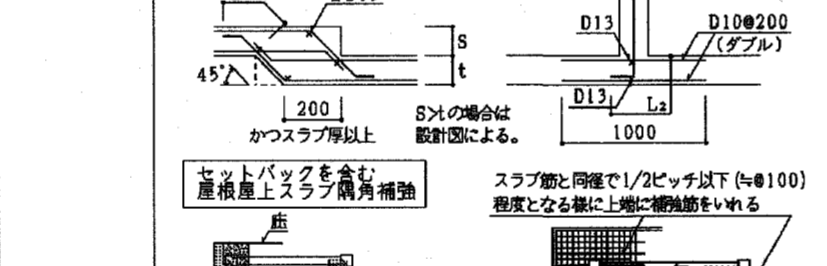
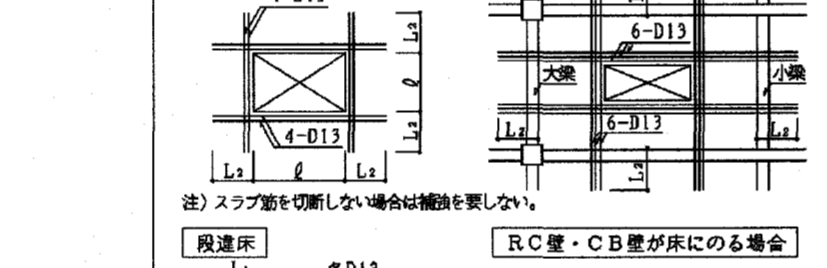
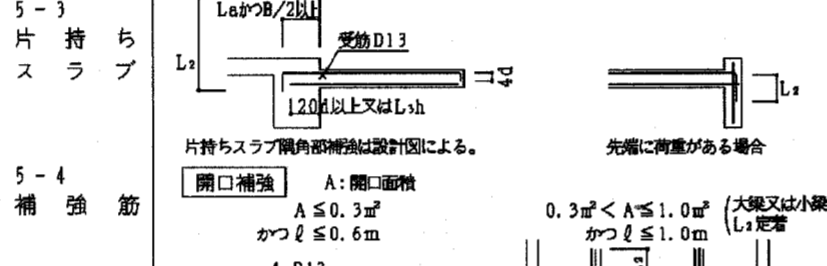
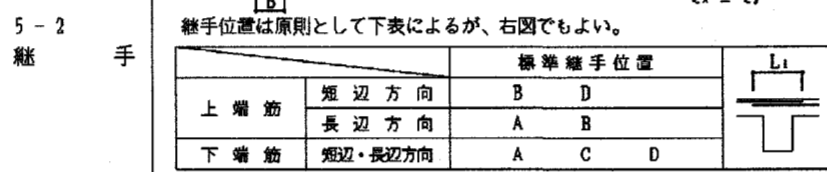
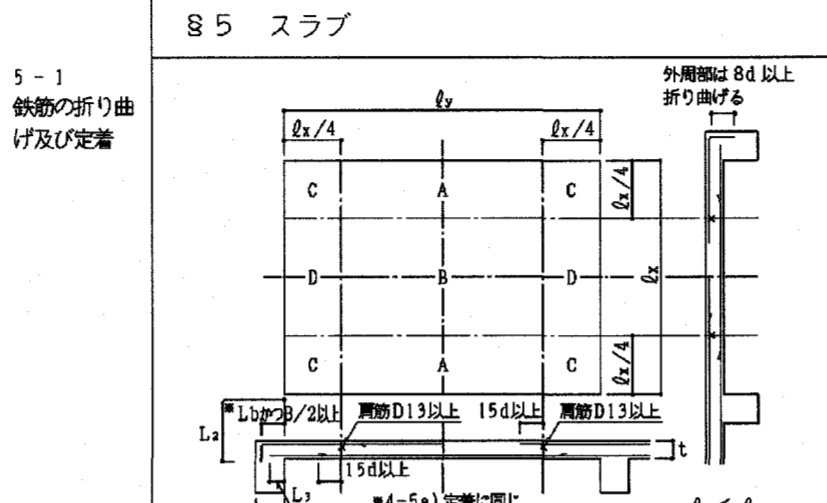
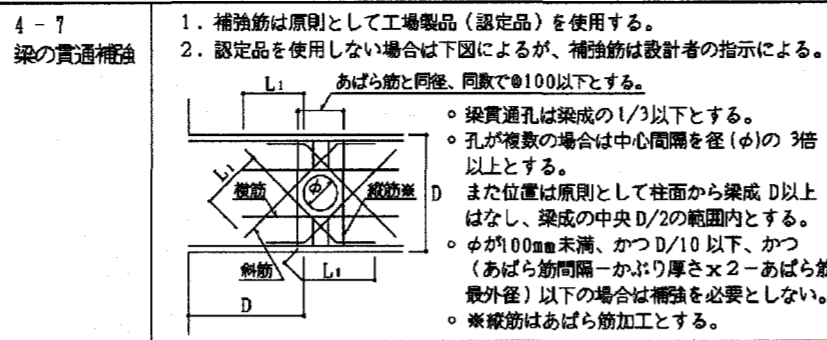
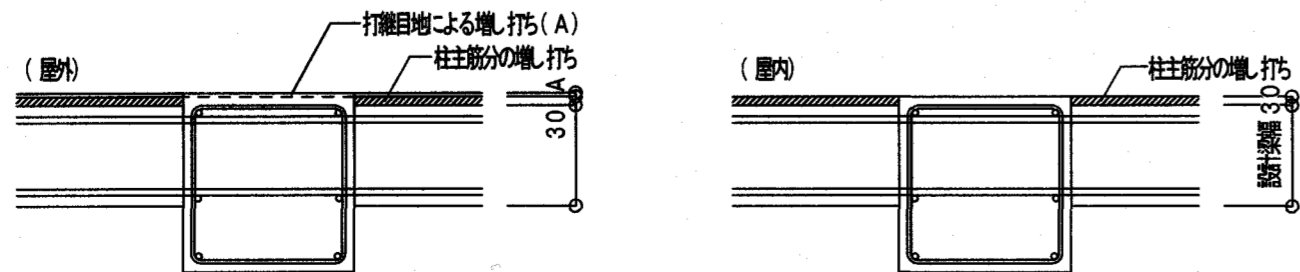
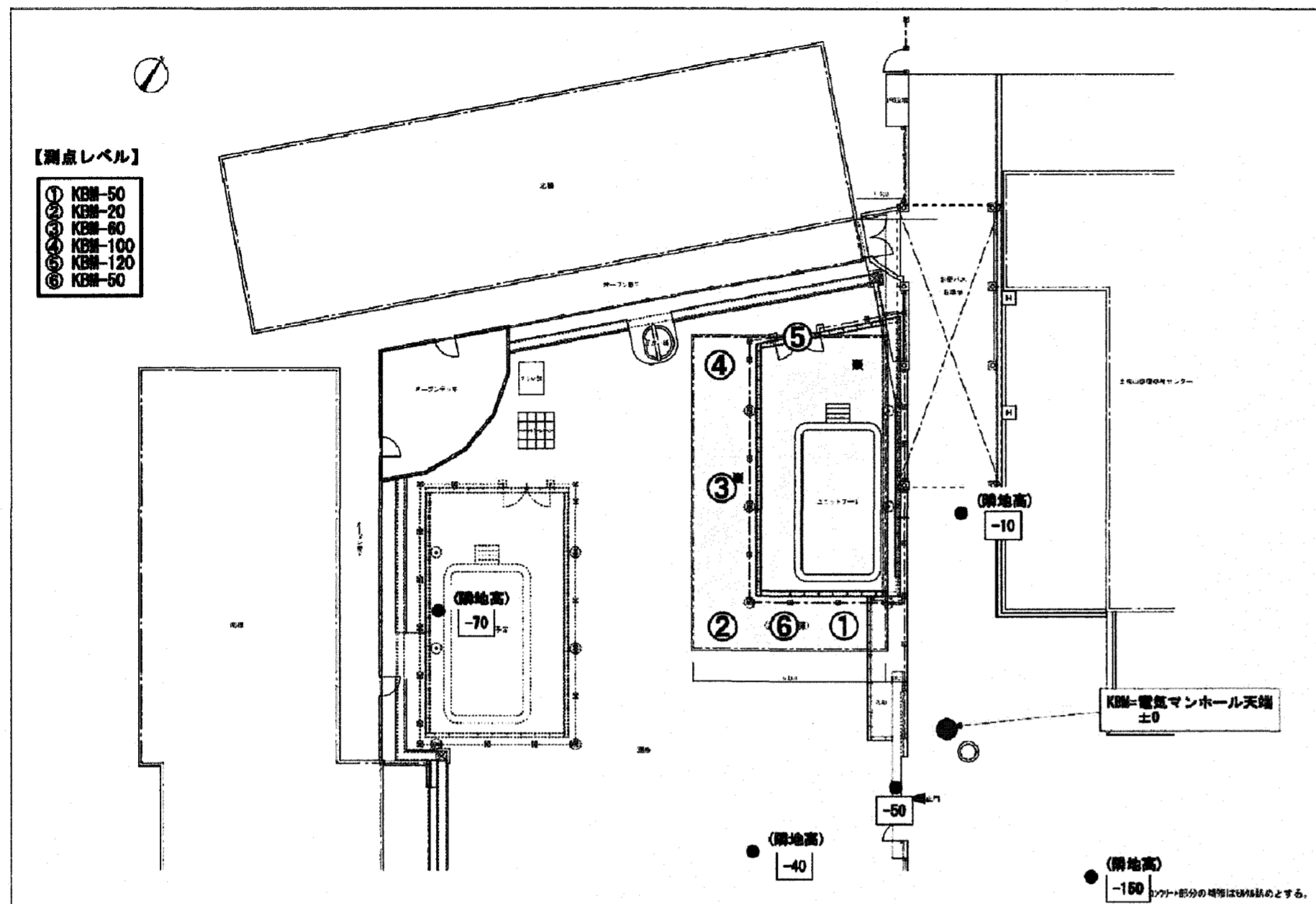


鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2015年度版



【 透釘 柱と梁が同一面の場合は下記のように梁筋30mm増し打ちとする。】





スクリーウエイト貫入試験結果

Soil Investigation is Certificated by GeoSign Corporation
 コピリットすると電子証書の有効性を確認できます。
 エラーの場合は最新のPDFをダウンロードして下さい。 GeoSign

管理番号	C2023-096-00349-02 / No.20230701525	調査名	とさやま保育園調理室棟 新築工事
調査地住所	高知県高知市土佐山森尾1827番地	測点番号	1
試験深度	1.46 m	調査者	山下 哲史
年月日	令和5年7月8日	調査時刻	13:01 ~ 13:16
緯度・経度	北緯: 33° 37' 49.94" (33° 37' 38.96") 東経: 132° 31' 59.11" (132° 31' 35.47")	標高	KBM -0.05 m
シリアル番号	本体: 3G1119 制御装置: 3G1119	水位	GI- 確認できず m
試験装置	ジオカルテⅢ	天候	曇

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 #sw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当り半回転数 Nsw (回)	記 事 音・感触 貫入状況	荷重 #sw (kN)					推定 柱状図 (m)	推定 水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 qa (kN/m²)		
						25	50	75	100	150					200	250
0.25	25	1.00	7.0	28	ジャリジャリ										3.8	46
0.50	25	1.00	69.0	276	ジャリジャリ 強打撃貫入										20.0	120
0.75	25	1.00	109.0	436	ガリガリ 強打撃貫入										20.0	120
1.00	25	1.00	156.0	624	ガリガリ 強打撃貫入										20.0	120
1.25	25	1.00	119.0	476	ガリガリ 強打撃貫入										20.0	120
1.46	21	1.00	142.0	676	ガリガリ 強打撃貫入										20.0	120

土質凡例
 砂質硬土 硬質土
 四転層 自沈層

スクリーウエイト貫入試験結果

Soil Penetration is Certificated by GeoSign Corporation
 ニックマークすると電子版の有効性を確認できます。
 エラーの場合は最新のPDFをダウンロードして下さい。 GeoSign

管理番号	G2023-096-00349-02 / No.20230701525		調査名	とさやま保育園調理室棟 新築工事	
調査地住所	高知県高知市土佐山桑尾1827番地		測点番号	2	
試験深度	0.72 m		調査者	山下 智史	
年月日	令和5年7月8日	調査時刻	13:19 ~ 13:29	標高	KBM -0.02 m
緯度・経度	北緯: 3337.8964 (33° 27' 54.78")	東経: 13331.5867 (133° 31' 35.27")	水位	GI- 確認できず m	
シリアル番号	本体: 3G1119	制御装置:	3G1119		
試験装置	ジオカルテⅢ		天候	曇	

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 #sw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当り半回転数 Nsw (回)	記事		荷重 #sw (kN)	貫入量1m当り半回転数 Nsw					推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算qa (kN/m ²)
					音・感触	貫入状況		25	50	75	100	150			
0.25	25	1.00	95.0	380	ジャリジャリ	強打撃貫入								20.0	120
0.50	25	1.00	63.0	262	ガリガリ	強打撃貫入								18.8	120
0.71	21	1.00	179.0	852		地中障害								20.0	120

土質凡例		砂質硬土		砂質土		礫質土		白土層
------	--	------	--	-----	--	-----	--	-----

スクリーウエイト貫入試験結果

Soil Penetration is Certificated by GeoSign Corporation
 ニックマークすると電子版の有効性を確認できます。
 エラーの場合は最新のPDFをダウンロードして下さい。 GeoSign

管理番号	G2023-096-00349-02 / No.20230701525		調査名	とさやま保育園調理室棟 新築工事	
調査地住所	高知県高知市土佐山桑尾1827番地		測点番号	3	
試験深度	4.69 m		調査者	山下 智史	
年月日	令和5年7月8日	調査時刻	13:31 ~ 14:06	標高	KBM -0.06 m
緯度・経度	北緯: 3337.8965 (33° 27' 53.97")	東経: 13331.5846 (133° 31' 35.08")	水位	GI- 確認できず m	
シリアル番号	本体: 3G1119	制御装置:	3G1119		
試験装置	ジオカルテⅢ		天候	曇	

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 #sw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当り半回転数 Nsw (回)	記事		荷重 #sw (kN)	貫入量1m当り半回転数 Nsw					推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算qa (kN/m ²)
					音・感触	貫入状況		25	50	75	100	150			
0.25	25	1.00	99.0	396	ジャリジャリ	強打撃貫入								20.0	120
0.50	25	1.00	165.0	620	ジャリジャリ	強打撃貫入								20.0	120
0.75	25	1.00	58.0	232	ガリガリ	強打撃貫入								17.5	120
1.00	25	1.00	70.0	280	ジャリジャリ	強打撃貫入								20.0	120
1.25	25	1.00	129.0	516	ガリガリ	強打撃貫入								20.0	120
1.50	25	1.00	79.0	316	ジャリジャリ	強打撃貫入								20.0	120
1.75	25	1.00	19.0	76	ジャリジャリ									7.0	75
2.00	25	1.00	69.0	236	ガリガリ	強打撃貫入								17.8	120
2.25	25	1.00	31.0	124										10.3	104
2.50	25	1.00	33.0	132										10.8	109
2.75	25	1.00	34.0	136		強打撃貫入								11.1	111
3.00	25	1.00	62.0	208	ジャリジャリ	強打撃貫入								15.9	120
3.25	25	1.00	5.0	20	ジャリジャリ									3.3	42
3.50	25	1.00	3.0	12	ジャリジャリ									2.8	37
3.75	25	1.00	8.0	32	ジャリジャリ									4.1	49
4.00	25	1.00	25.0	100	ジャリジャリ	強打撃貫入								8.7	90
4.25	25	1.00	39.0	156	ジャリジャリ	強打撃貫入								12.4	120
4.50	25	1.00	23.0	92	ジャリジャリ									8.1	85
4.69	19	1.00	132.0	695	ガリガリ	強打撃貫入								20.0	120

土質凡例		砂質硬土		砂質土		礫質土		白土層
------	--	------	--	-----	--	-----	--	-----

スクリーウエイト貫入試験結果

Soil Penetration is Certificated by GeoSign Corporation
 ニックマークすると電子版の有効性を確認できます。
 エラーの場合は最新のPDFをダウンロードして下さい。 GeoSign

管理番号	G2023-096-00349-02 / No.20230701525		調査名	とさやま保育園調理室棟 新築工事	
調査地住所	高知県高知市土佐山桑尾1827番地		測点番号	4	
試験深度	2.38 m		調査者	山下 智史	
年月日	令和5年7月8日	調査時刻	14:11 ~ 14:27	標高	KBM -0.1 m
緯度・経度	北緯: 3337.9018 (33° 27' 54.11")	東経: 13331.5843 (133° 31' 35.05")	水位	GI- 確認できず m	
シリアル番号	本体: 3G1119	制御装置:	3G1119		
試験装置	ジオカルテⅢ		天候	曇	

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 #sw (kN)	半回転数 Na (回)	1m当り半回転数 Nsw (回)	記事		荷重 #sw (kN)	貫入量1m当り半回転数 Nsw					推定水位 (m)	換算N値 (回)	換算qa (kN/m ²)
					音・感触	貫入状況		25	50	75	100	150			
0.25	25	1.00	47.0	188	ジャリジャリ									14.5	120
0.50	25	1.00	120.0	480	ジャリジャリ	強打撃貫入								20.0	120
0.75	25	1.00	69.0	276										20.0	120
1.00	25	1.00	21.0	84	ジャリジャリ									7.6	80
1.25	25	1.00	23.0	92	ジャリジャリ									8.1	85
1.50	25	1.00	15.0	60	ガリガリ									6.0	66
1.75	25	1.00	14.0	56										5.7	63
2.00	25	1.00	66.0	264	ガリガリ									19.6	120
2.25	25	1.00	108.0	432	ガリガリ	強打撃貫入								20.0	120
2.38	13	1.00	128.0	962	ガリガリ	強打撃貫入								20.0	120

土質凡例		砂質硬土		砂質土		礫質土		白土層
------	--	------	--	-----	--	-----	--	-----

スクリーウエイト貫入試験結果

Soil Investigation is Certified by GeoSign Corporation. GeoSign
 このクリックすると電子証書の有効性を確認できます。
 エラーの場合は最新のPDFをダウンロードして下さい。

管理番号	G2023-096-00349-02 / No.20230701525		調査名	とさやま保育園調理室棟 新築工事	
調査地住所	高知県高知市土佐山桑尾1827番地		測点番号	5	
試験深度	2.93 m		調査者	山下 智史	
年月日	令和5年7月8日	調査時刻	14:45 ~ 15:00	標高	KBM -0.12 m
緯度・経度	北緯: 3337.9932 (33° 37' 54.2")	東経: 13331.5847 (133° 31' 35.08")	水位	GL- 確認できず m	
シリアル番号	本体: 3G1119	制御装置:	3G1119		
試験装置	ジオカルテⅢ		天候	曇	

貫入 深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 #sw (kN)	半回 回転数 N ₅₀ (回)	1m当り 半回転数 N _{sw} (回)	記事 音・感触 貫入状況	荷重 #sw (kN)	貫入量 1m当り 半回転数 N _{sw}					推定 水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)
							25	50	75	100	150			
0.25	25	1.00	30.0	120	ジャリジャリ 強打撃貫入								10.0	102
0.50	25	1.00	26.0	104	ジャリジャリ								8.9	92
0.75	25	1.00	14.0	56	ジャリジャリ								5.7	63
1.00	25	1.00	19.0	76	ジャリジャリ								7.0	75
1.25	25	1.00	53.0	212	強打撃貫入								16.2	120
1.50	25	1.00	26.0	104	ジャリジャリ								8.9	92
1.75	25	1.00	37.0	148	ジャリジャリ 強打撃貫入								11.9	118
2.00	25	1.00	91.0	364	ガリガリ 強打撃貫入								20.0	120
2.25	25	1.00	66.0	264	ガリガリ								19.6	120
2.50	25	1.00	75.0	300	ガリガリ 強打撃貫入								20.0	120
2.75	25	1.00	38.0	152	ガリガリ								12.1	120
2.93	18	1.00	123.0	683	ガリガリ 強打撃貫入								20.0	120

土質凡例

 砂質土 粘黄土

: 固相層
 : 自沈層

スクリーウエイト貫入試験結果

Soil Investigation is Certified by GeoSign Corporation. GeoSign
 このクリックすると電子証書の有効性を確認できます。
 エラーの場合は最新のPDFをダウンロードして下さい。

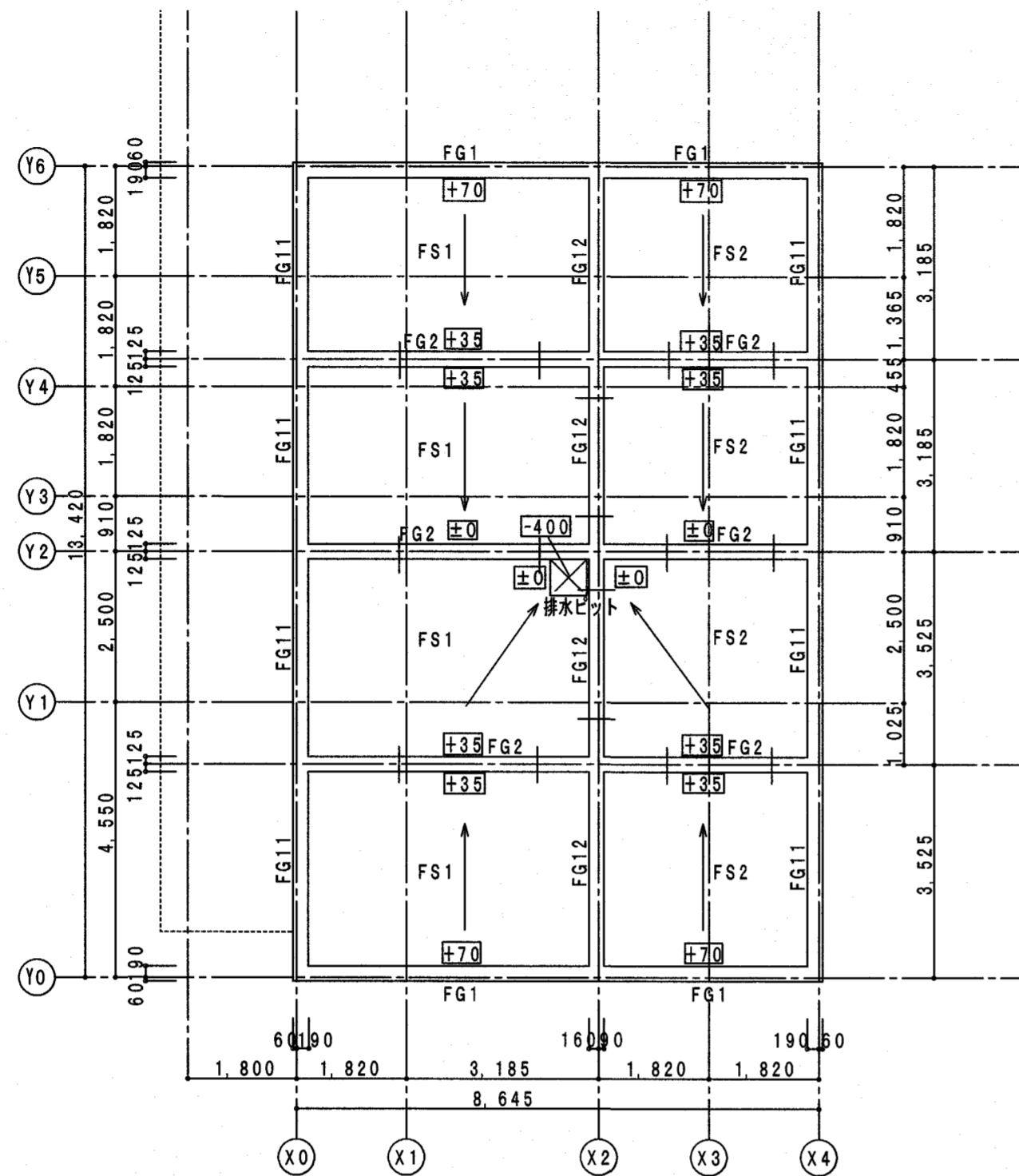
管理番号	G2023-096-00349-02 / No.20230701525		調査名	とさやま保育園調理室棟 新築工事	
調査地住所	高知県高知市土佐山桑尾1827番地		測点番号	6	
試験深度	0.88 m		調査者	山下 智史	
年月日	令和5年7月8日	調査時刻	15:05 ~ 15:15	標高	KBM -0.05 m
緯度・経度	北緯: 3337.8867 (33° 37' 53.8")	東経: 13331.5860 (133° 31' 35.38")	水位	GL- 確認できず m	
シリアル番号	本体: 3G1119	制御装置:	3G1119		
試験装置	ジオカルテⅢ		天候	曇	

貫入 深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 #sw (kN)	半回 回転数 N ₅₀ (回)	1m当り 半回転数 N _{sw} (回)	記事 音・感触 貫入状況	荷重 #sw (kN)	貫入量 1m当り 半回転数 N _{sw}					推定 水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)
							25	50	75	100	150			
0.25	25	1.00	50.0	200	ジャリジャリ								15.4	120
0.50	25	1.00	64.0	256	ジャリジャリ								19.1	120
0.75	25	1.00	92.0	368	ジャリジャリ 強打撃貫入								20.0	120
0.87	12	1.00	151.0	604	ガリガリ 地中障害								20.0	120

土質凡例

 砂質土

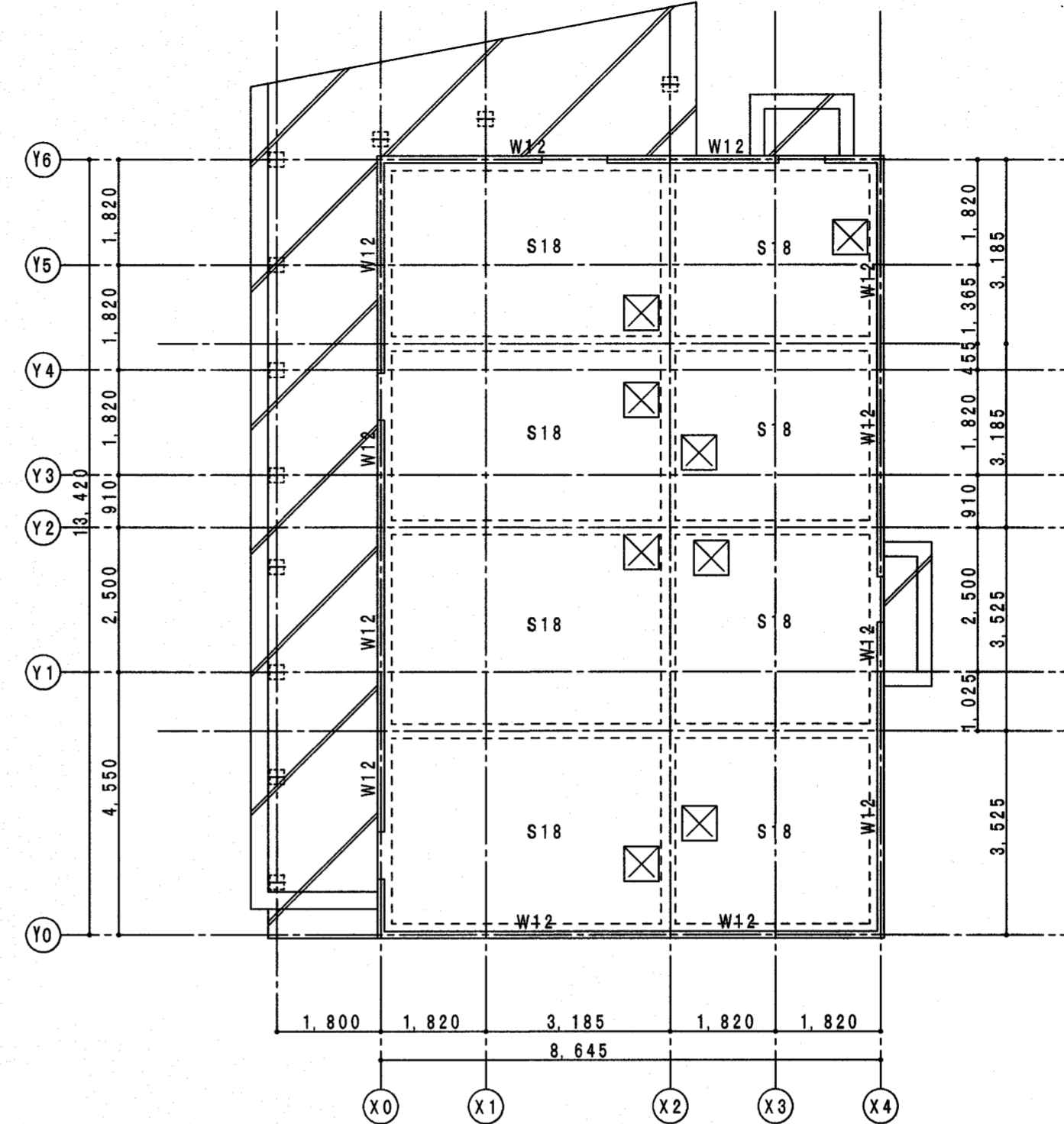
: 固相層
 : 自沈層



基礎伏図 1:100

特記無き限り下記による。

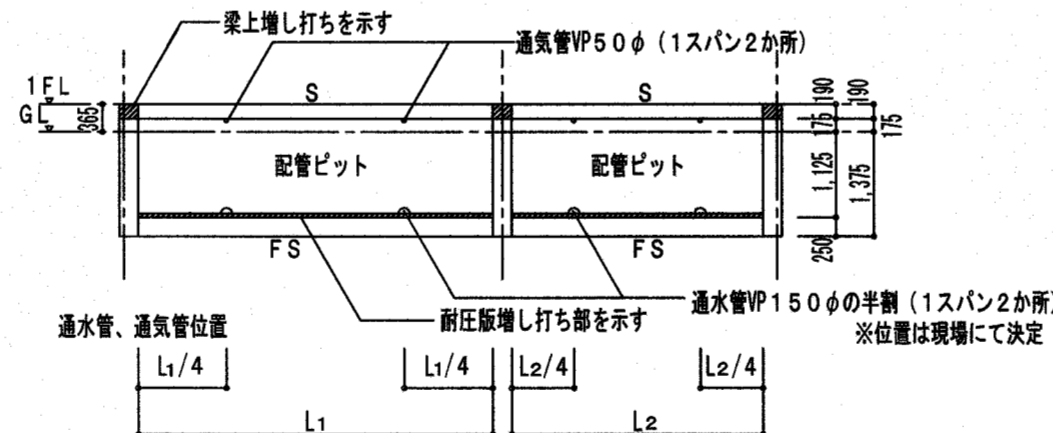
1. □内数値は耐圧版天端レベルを示す。
2. →は耐圧版上部増し打ち部の水勾配を示す。
3. ⊗は排水ピットを示し、排水ピットは600×600×H400とする。
4. —は通気管 (VP50φ)、通水管 (VP150φ/2) のを示す。
5. FSの符号方向は耐圧版の主筋方向を示す。
6. 基礎梁関係の高さ関係は下記を基準とする。



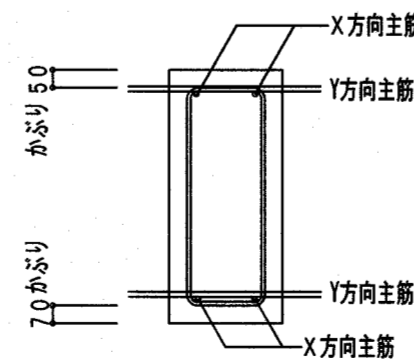
1階伏図 1:100

特記無き限り下記による。

1. ⊗は床点検口 (600×600) を示す。
2. スラブ符号の方向はスラブ主筋方向を示す。
3. ⊘は土間コンクリート部分を示す。
4. スラブ天端は1FL-10とする。
5. 基礎梁天端は1FL-190とする。



7. 基礎梁主筋のかぶりりと主筋の上下関係は下記とする。



備考

高知市都市建設部公共建築課

保 保長 課長補佐 課長
小野 松岡 松本 清水

とさやま保育園調理室棟新築工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

図面名称

伏図

高知市知寄町1-5-1

TEL 883-1761

FAX 883-1633

縮尺 S=1:100

NO.

S-06

一級建築士第135971

安並和文

年月日 提出

製図

地中梁リスト 1:30

特記無き限り下記による。

1. 捨てコンクリートφ50、砕石φ60とする。
2. 地業工事等で基礎地盤が乱れていた場合は監督職員と協議し乱れの無い深さまで根切を行い砕石にて置換する事とする。
3. 梁主筋継手は配筋基準図4-6、地反力を受ける場合とする。

符号	FG1, FG2	FG11, FG12
位置	全断面	全断面
断面		
B x D	250x1,550	250x1,550
上端筋	3-D16	3-D16
下端筋	3-D16	3-D16
肋筋	D13-□@200	D13-□@200
腹筋	8-D10	8-D10

スラブリスト

特記無き限り下記による。

1. 耐圧版下部砕石φ60、捨てコンクリートφ50とする。

符号	厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
FS1	250	上端	D13@200	D13@200	耐圧版端部定着および継手は配筋基準図7-3による。
		下端	D13, D16@200	D13, D16@200	
FS2	250	上端	D13@200	D13@200	耐圧版端部定着および継手は配筋基準図7-3による。
		下端	D13@200	D13@200	
S18	190	上端	D10, D13@200	D10, D13@200	スラブ端部は配筋基準図5-1参照とする。
		下端	D13@200	D13@200	
土間 コンクリート	150	上端	D13@200	D10@200	詳細図参照とする。
		下端	D10@200	D10@200	

配筋詳細図

W2 配筋詳細図 1:30

外部土間コンクリート 配筋詳細図

※土間コンクリート 下部の埋め戻し部分は厚さ300mm内外ずつランマーで突き固める。

耐圧版排水ピット 周辺配筋基準図

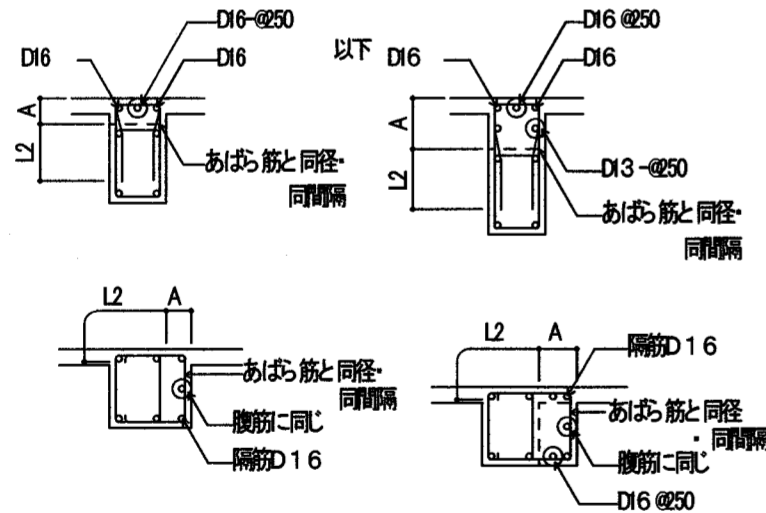
通気管、通水管周り貫通補強図

梁のコンクリート増し打ち補強 (共通事項)

【共通事項】

コンクリート打継部は先行コンクリート打設後にコンクリート硬化遅延剤等散布の後、高圧洗浄を行いレイトンを除去すること。なお、洗浄時には骨材が浮かないように注意をし洗浄すること。

- a. 増し打70未満の場合は、補強筋を必要としない。
 b. 70 ≤ A ≤ 200 c. 200 < A



特記仕様書 (木工事) 軸組工法

一般事項 本工事における構造の骨組(架構体)、下地骨組、造作、仕上げの木工事に適用する。

特記事項は ■ 印の付いたものを適用する。

木材の品質 1. 素材及び製材の品質は、日本農林規格(JAS)の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとす。

2. 構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のJASに適合したもまたは製材のJASで定める1等以上とする。

3. 見掛りの造作用柱、板用製材の品質は、製材のJASで定める小節以上のものとし、心持材の場合は背割りを行ったものとする。

4. 目視等級区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りJASによる。

— 甲種構造材(構造用I) — 甲種構造材(構造用II) — 乙種構造材 —
 (短辺が90mm未満の横物) (短辺が90mm以上の横物) (柱材など)
 一級 二級 三級 一級 二級 三級 一級 二級 三級

5. 仕口を固める楔、栓は堅木とする。又覆い材は骨組材と同材以上または堅木とする。

6. 構造用集材は、構造用集材のJASに適合若しくは化粧ばり集材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

— 構造部材は一部、集材材を使用する。梁 (E105-F300) — 梁 (E120-F330) —

7. 各種ボード類

(1) 合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

(2) 構造用パネルの品質は、構造用パネルのJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

(3) ハードボード、硬質木片セメント板、シージングボード、石膏ボード、及びラスシートの品質は、

それぞれの日本工業規格(JIS)に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

(4) パーティクルボード、MDF(ミディアム・デンシティファイバーボード)の品質は、

それぞれの日本工業規格(JIS)に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

乾燥 1. 木材の工事現場搬入時の含水率は下記による。

2. 針葉樹材についてはJAS区分に準じ、以下の通りとする。

乾燥材 D25 乾燥材 D20 乾燥材 D15

※ 特記なき場合は乾燥材D15(含水率15%以下)とする。

3. 天然乾燥材については、乾燥材D25(含水率25%)を目標とし、監督職員の承諾を得る。

指定寸法 1. 木材の寸法については、JASに準じて、材長の不足は認めない。断面寸法については下記による。

材の短辺及び長辺	JASによる乾燥材		未乾燥材		
	90mm以上	90mm未満	90mm以上	36mm以上90mm未満	36mm未満
表示寸法と許容誤差	±1.5mm	±1.0mm	+3.0~0mm	+2.0~0mm	+1.0~0mm

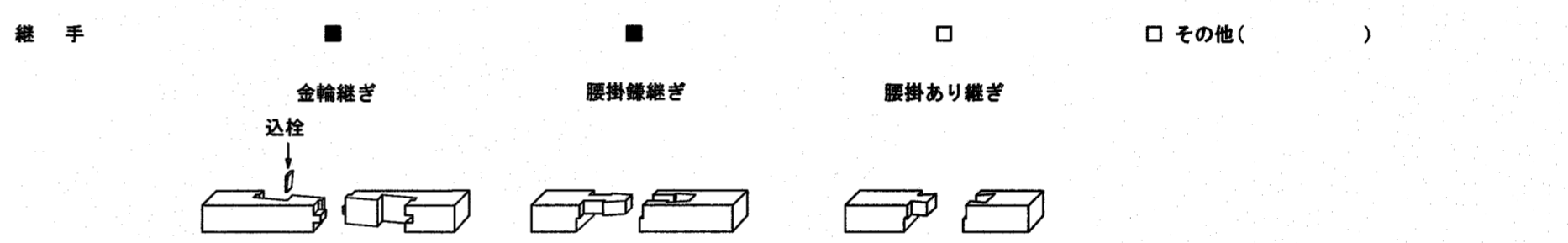
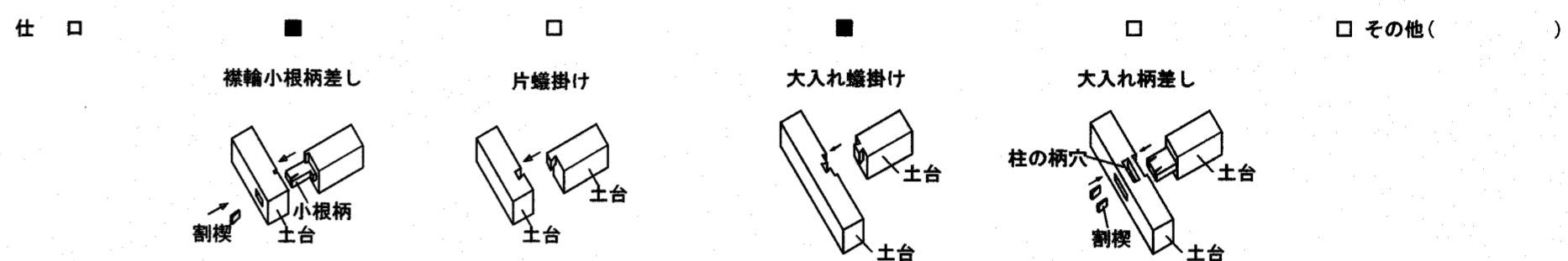
指定強度 1. 無等級材の強度については下記による。

等級	基準強度(N/mm ²)					
	Fc	Ft	Fb	Fs	Fm	Yield
無等級製材 杉	17.7	13.5	22.2	1.8	6.0	E-70相当
無等級製材 松	20.7	16.2	26.7	2.1	7.8	E-90相当

部位 土台

材種 ■ ひのき ひば くり べいひば こうやまき
 保存処理製材 土台用加圧式防腐処理木材 その他(米トガ)

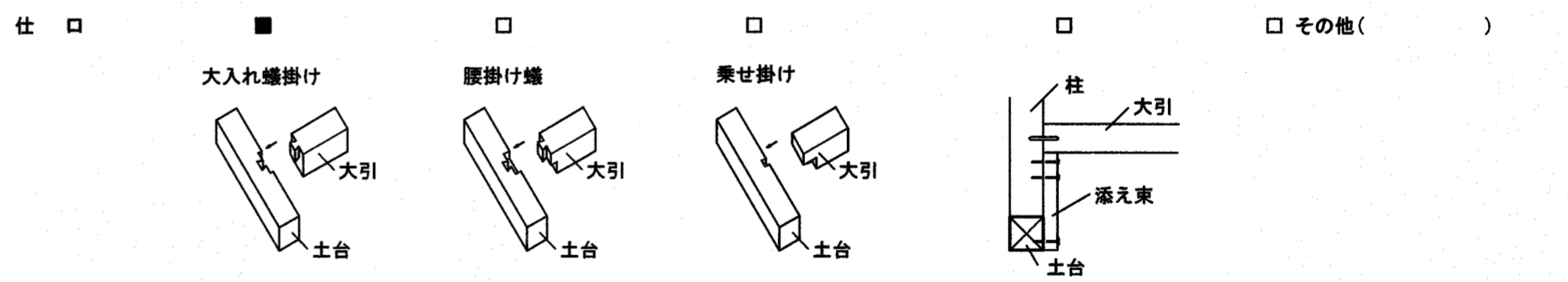
工法 1. 断面寸法は柱と同じ寸法以上とし105mm×105mmを標準とする。
 ただし、多雪区域内(「建築基準法施行令第86条第2項ただし書の規定より特定行政庁が指定する区域」以下同じ)においては105mm×105mm以上とする。
 2. 継手は、柱及び床下換気孔の位置は避ける。



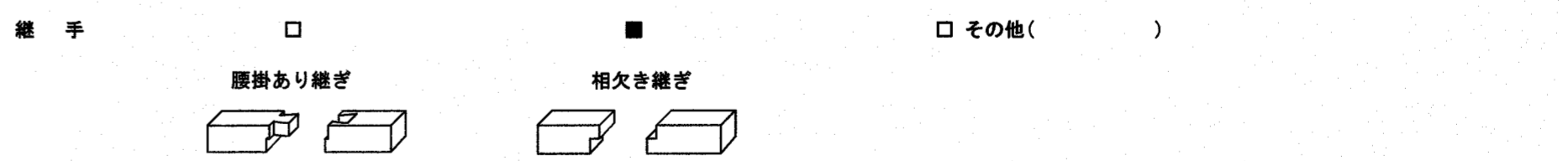
床組引

材種 ■ ひのき ひば べいまつ べいつが すぎ あかまつ ころまつ からまつ その他(集成材)

工法 1. 断面寸法は60mm×90mmを標準とする。
 2. 継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N75釘2本打ちとする。



注) 上記仕口はいずれもN75釘2本斜め打ちとする。



特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部位 柱

材種 (見えがかり)
 ひのき すぎ べいつが 化粧貼構造用集成材
 (見え隠れ)
 ひのき すぎ べいつが 構造用積層材 通柱 (E120, F375) 強度等級 管柱 (E95, F315) 強度等級 ほぞ寸法は、(35mm×85mm)とする。

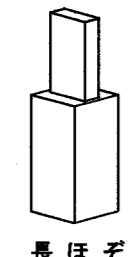
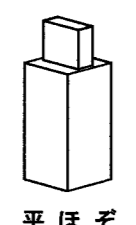
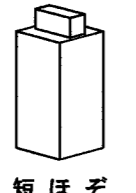
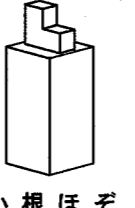
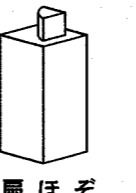
工法
 1. 柱の断面寸法は105mm×105mm以上とする。(掃除具入れのみ75mm×75mmとする)
 2. 隅柱(出隅、入隅)の断面寸法は、105mm×105mm以上とする。
 3. 横架材との仕口は、特記なき限り上下とも長柄差し込み栓打ちとする。
 4. 隅柱の下部は、特記なき限り短ほぞ差しとし、かど金物(OP-L)当て釘打ちとする。
 5. 筋かいの下端部が取り付け柱と横架材との仕口は柱の上下とも長ほぞ差しとし、込み栓打ちとする。
 6. 隅柱と土台との仕口は土台の特記 (WS-04) による。

部位 間柱

材種 すぎ ひのき べいまつ べいつが くらまつ からまつ あかまつ その他 (WWKD)

工法
 1. 横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN75釘2本を斜め打ちする。
 2. 筋かい当りは、間柱を欠き、N75釘2本を平打ちする。
 3. 通し貫当りは、N65釘2本を平打ちする。

仕口

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					認定仕口金物
長ほぞ	平ほぞ	短ほぞ	小根ほぞ	兩ほぞ	

部位 火打梁

材種 べいまつ べいつが くらまつ すぎ あかまつ ひのき 火打金物

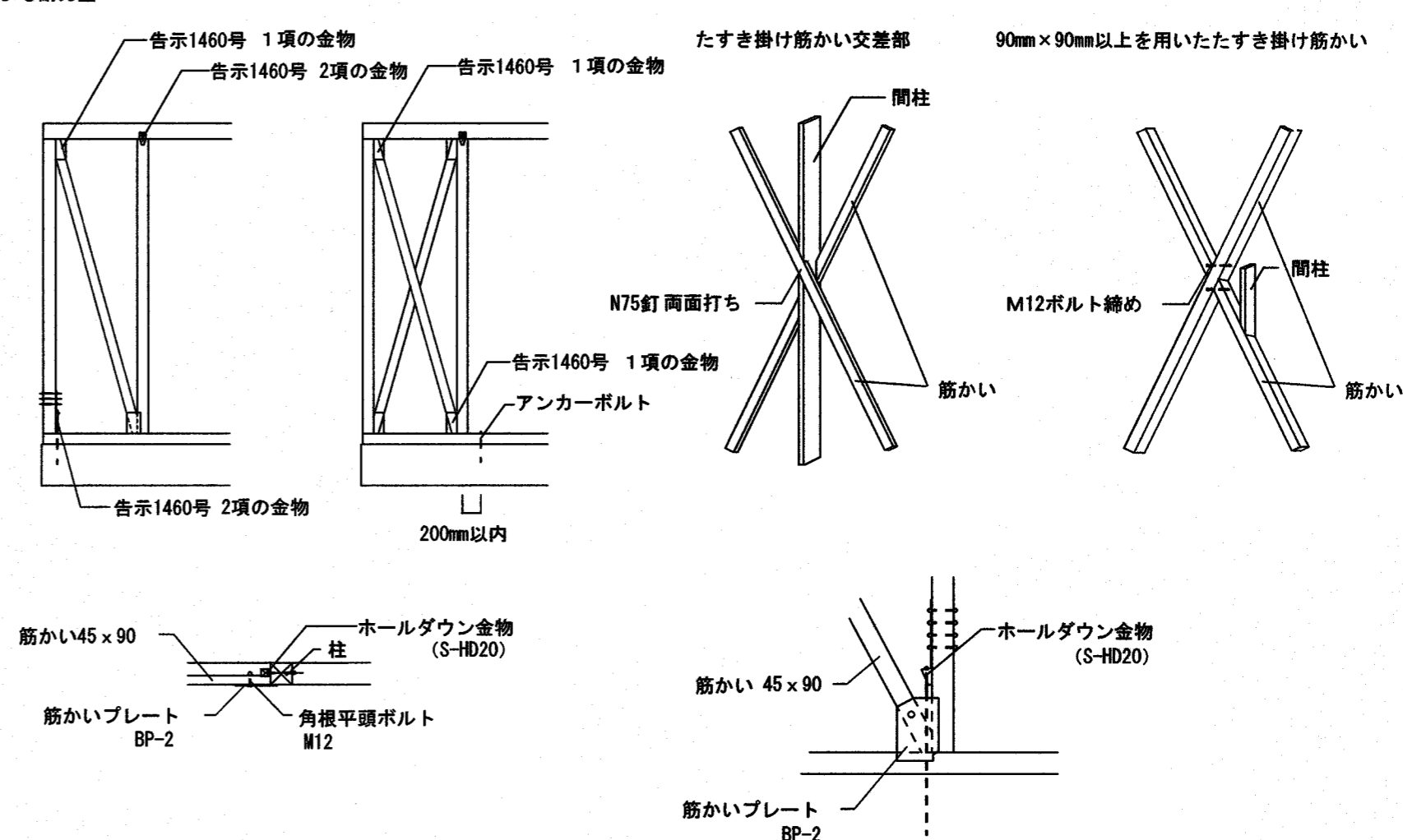
工法
 火打梁は次のいずれかによる。
 1. 木材の火打梁とする場合は、次による。
 イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。
 ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト閉めとする。
 但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし、いずれも六角ボルト締めとする。
 2. 鋼製火打とする場合は、特記による。
 3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。

部位 筋かい耐力壁

材種 ひのき すぎ 構造用合板9.0mm以上 構造用パネル パーティクルボード12mm以上 ハードボード5mm以上
 その他 (石膏ボード)

木造筋かい 1. 断面寸法は45mm×90mm以上とする。
 2. 見付け平使いとし、上下端部の仕口は告示1460号に適合した方法とする。
 3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。

筋かいによる耐力壁



特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部位

耐力壁

(受材タイプ)

1. 受材は30mm×40mm以上とする。
2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30cm以下の間隔で平打ちとする。
3. 構造用面材は、受材並びに間柱及び隅つなぎ等に留めつける。
4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は隅つなぎ等の断面は45mm×65mm以上とする。

(貫タイプ)

1. 貫は15mm×90mm以上とする。
2. 貫は5本以上設ける。
3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、その他の貫の間隔は61cm以下とする。
4. 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。
5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。
6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。
7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。
8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。

(大壁タイプ)

1. 釘N50、CN50で間隔を100以下とし、構造用合板を柱、梁、土台に打ちとする。

接合金物

筋かい端部の接合 (告示 1460号1項)

イ 径9mmの鉄筋

柱又は、横架材 (柱や土台) 貫通し、三角座金を介してナット締め、鋼板添え板を用い柱又は横架材にJIS規定鉄丸釘CN90を8本以上打ち付けたもの。

ロ 1.5cm×9cmの木材の筋かい

柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材の双方にJIS規定鉄丸釘N65を5本以上平打ちしたもの。

ハ 3cm×9cmの木材の筋かい

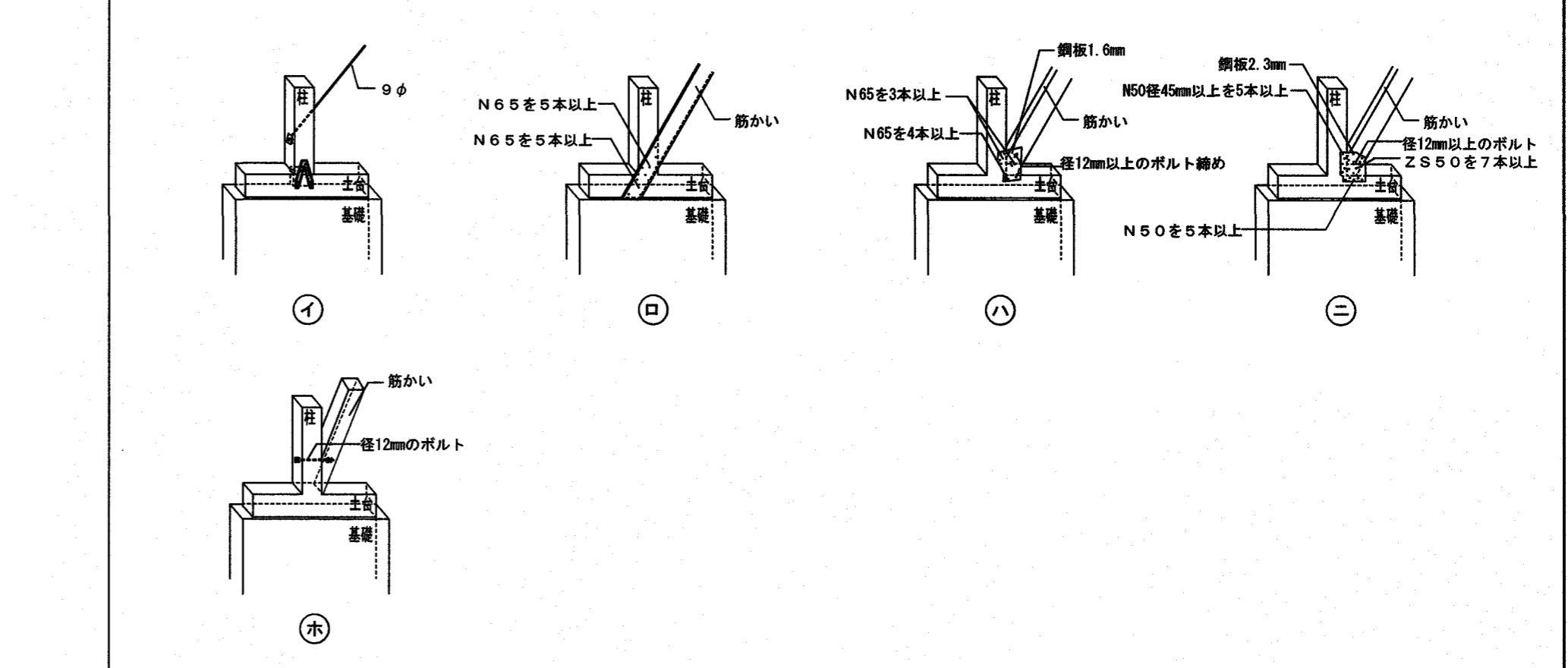
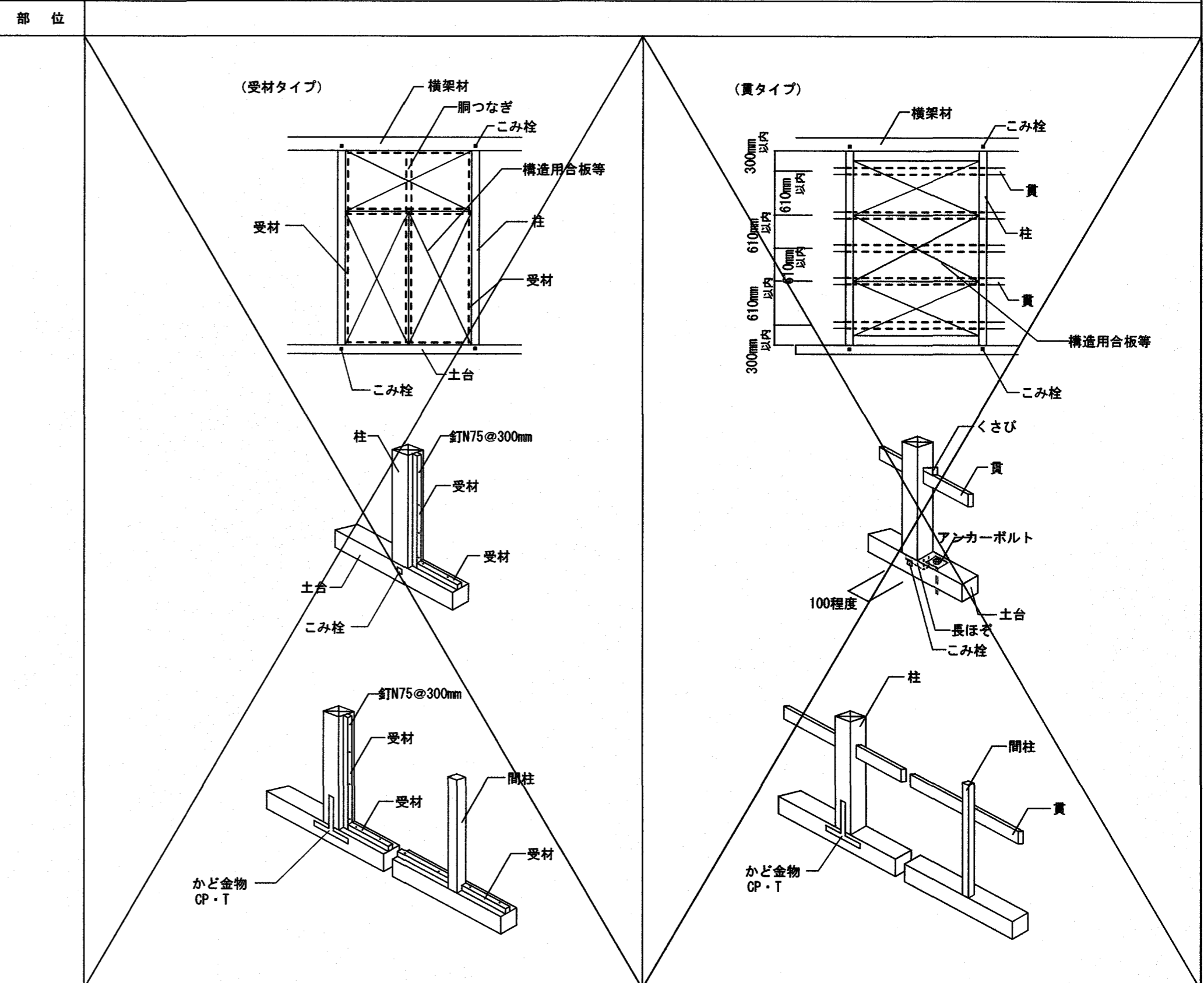
厚さ1.6mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径12mm以上のボルト及び釘3本平打ち、柱に対して釘3本平打ち、横架材に対して釘4本平打ちしたもの。

ニ 4.5cm×9cmの木材の筋かい

厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径12mm以上のボルト及び長さ50mm以上のスクリー釘7本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm径4.5mm以上のスクリー釘5本平打ちしたもの。

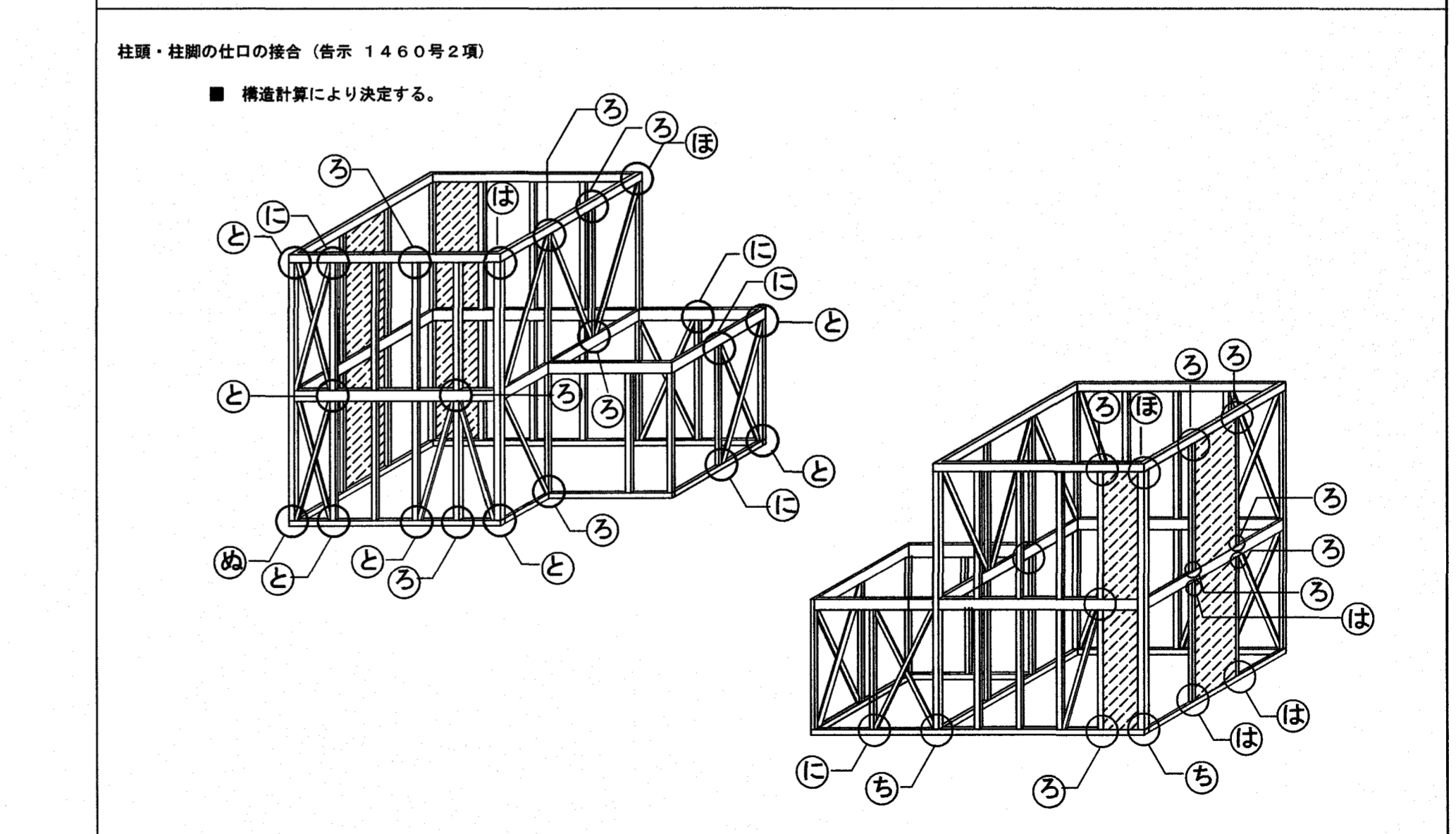
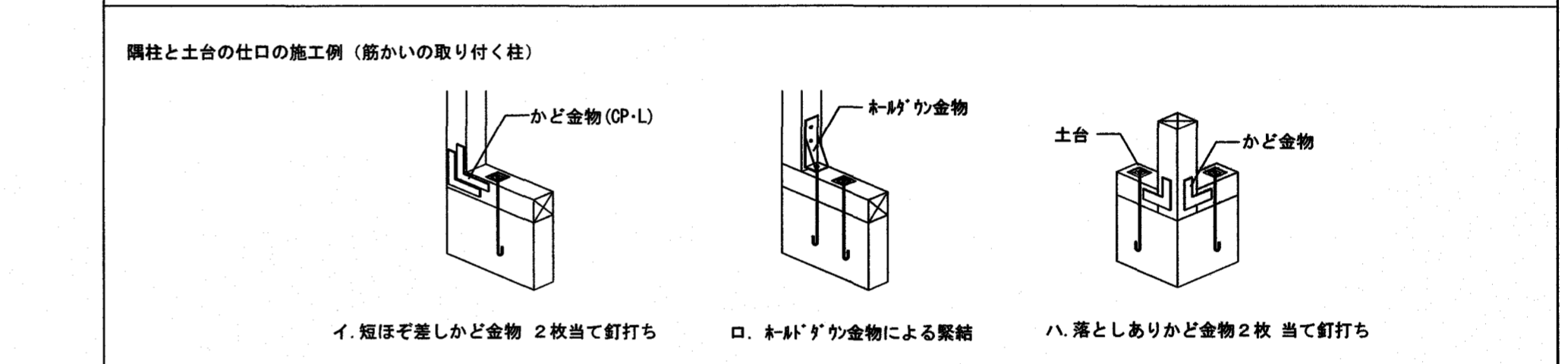
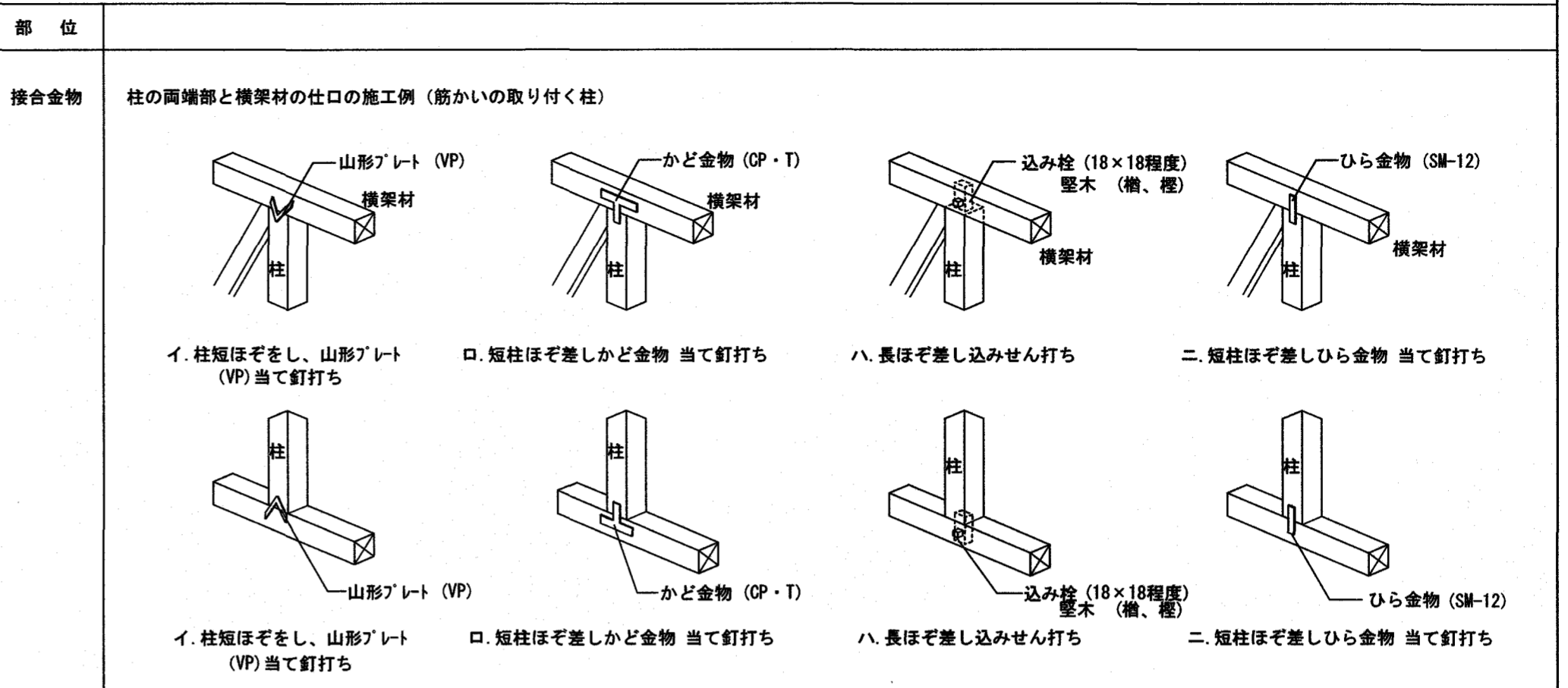
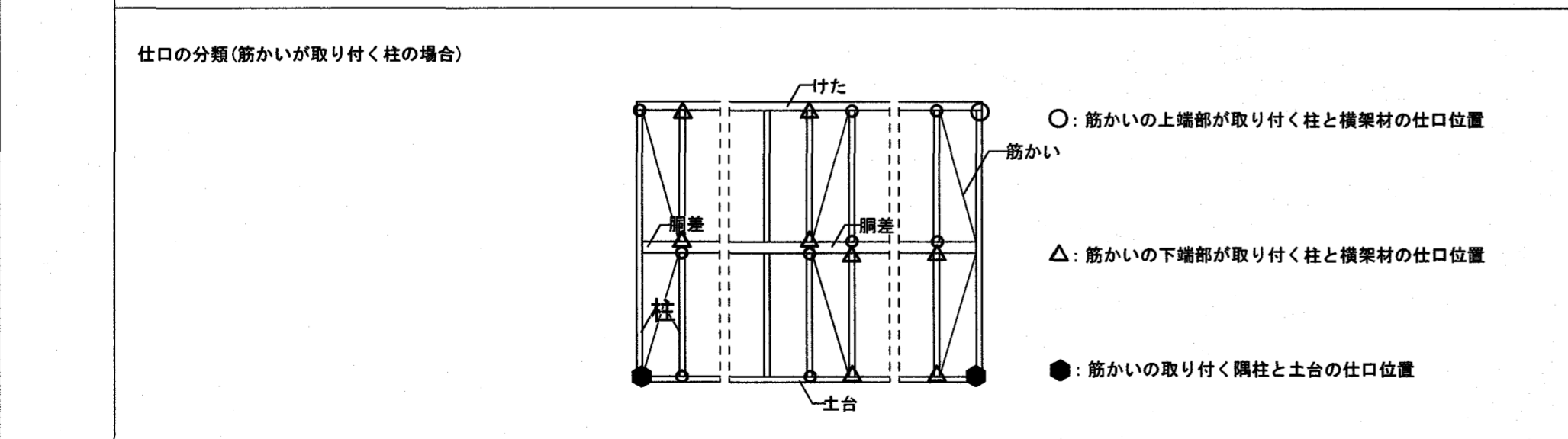
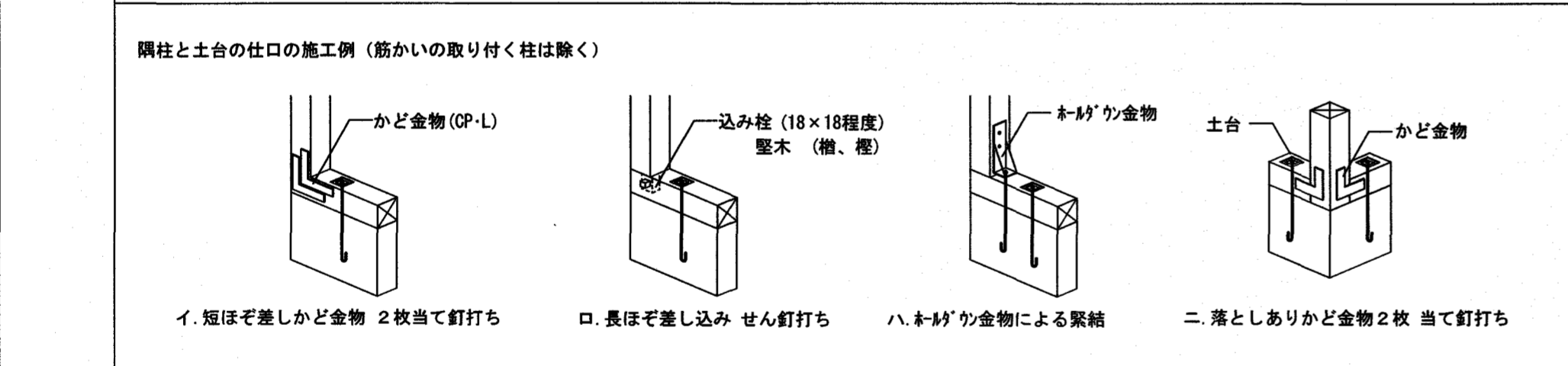
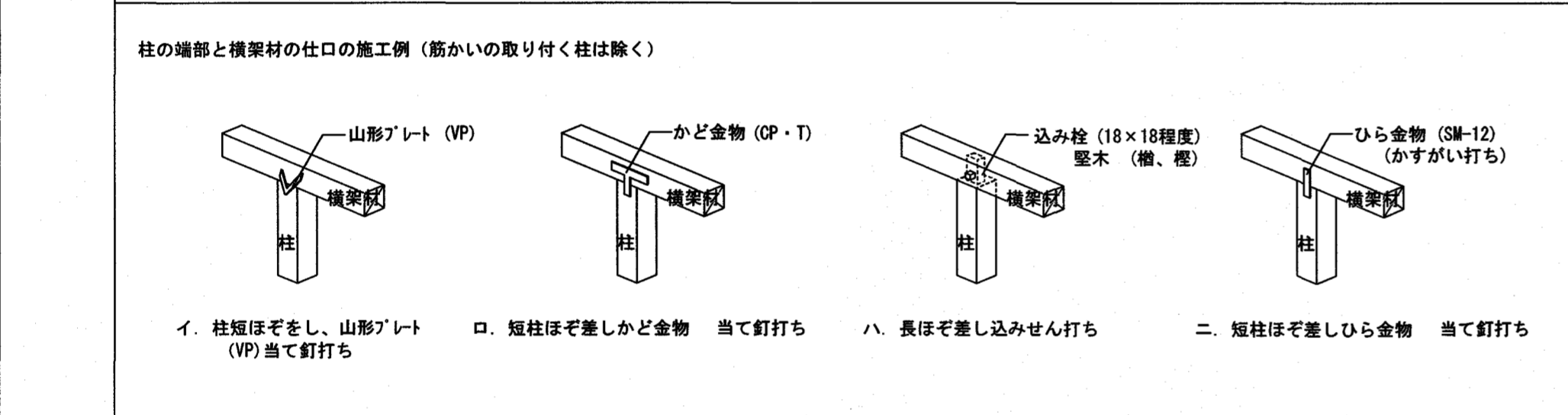
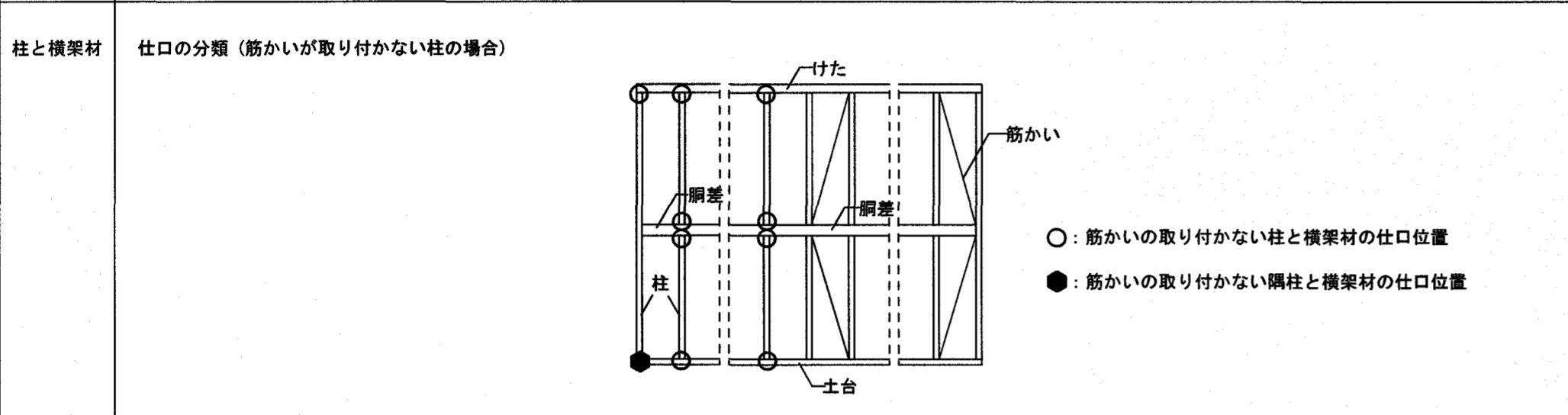
ホ 9cm×9cmの木材の筋かい

柱又は横架材に、JIS強度区分4.6の径12mmのボルトを用いて一面せん断接合とすること。



特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部位
接合金物
接合金物使用条件
接合金物の取付・施工は、平成12年建設省告示代1460号を順守し施工する。
接合金物は、Z、C又は、Xマーク表示金物による。
筋かい接合金物は、建設省告示1460号対応金物の内より筋かい寸法に合わせ、納まりを考慮し最良のものを使用する。



特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部 位	
金 物	<p>上端箇所金物施工箇所標準図</p> <p>① かすがい</p> <p>② かど金物 CP-L 太め釘 ZN65 10本</p> <p>③ 山型プレート VP 太め釘 ZN90 8本</p> <p>④ 羽子板ボルト SB-F2.SB-E2 柱・・・六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W 4.5×40 梁・・・角座付ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W 4.5×40</p> <p>⑤ 羽子板ボルト SB-F2.SB-E2 柱・・・六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W 4.5×40 梁・・・角座付ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W 4.5×40</p>
	<p>2階階柱緊結金物施工箇所標準図</p> <p>⑥ 六角ボルト M12 羽子板ボルト M12</p> <p>⑦ 六角ボルト M12 ホールダウン金物 耐力10Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑧ 羽子板ボルト SB-F2 柱・・・六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W 4.5×40 梁・・・六角ナット M12 角座金 W 4.5×40</p> <p>⑨ ホールダウン金物 S-HD10 角座金付ボルト M16 六角ナット M16×2個 フラット角座ボルト M12×2本 六角ナット M12×2個 パネ付丸座金 W 4.5×2枚</p>
	<p>中間箇所金物施工箇所標準図</p> <p>⑩ かど金物 CP-L 太め釘 ZN65 10本</p> <p>⑪ 山型プレート VP 太め釘 ZN90 8本</p> <p>⑫ 短ざく金物 柱・・・六角ボルト M12×2 六角ナット M12×2本 角座金 W 4.5×40×2 梁・・・スクリュー釘 ZS50</p> <p>⑬ S短ざく金物 FS-360/82220 柱・・・六角ボルト M12×2 パネ座金 W4.5×2 梁・・・リングネイル FRN55×2</p> <p>⑭ ホールダウン金物 S-HD10×2 両引きボルト M16 六角ナット M16×2個 フラット角座ボルト M12×2本×2 六角ナット M12×2個×2 パネ付丸座金 W 4.5×2枚×2</p>
	<p>基礎・土台部分金物施工箇所標準図</p> <p>⑮ かすがい</p> <p>⑯ かど金物 CP-L 太め釘 ZN65 10本</p> <p>⑰ 山型プレート VP 太め釘 ZN90 8本</p> <p>⑱ 両引き羽子板金物 (L型 羽子板金物) 柱・・・六角ボルト M12 六角ナット M12 パネ付丸座金 W4.5 土台・・・丸座付ボルト M12 六角ナット M12 パネ付丸座金 W4.5</p> <p>⑲ ホールダウン金物 S-HD10 柱・・・フラット角座ボルト M12×3本 六角ナット M12×3個 フラット丸座金 ×2枚 土台・・・角座付ボルト M16 六角ナット M16</p>

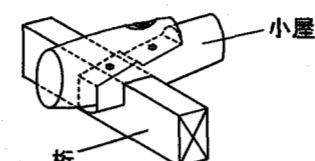
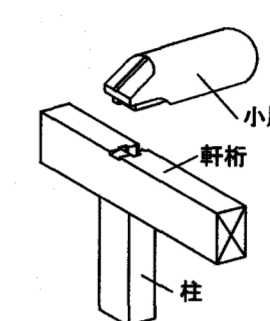
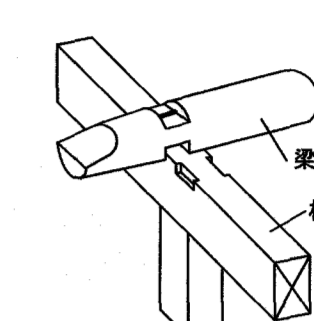
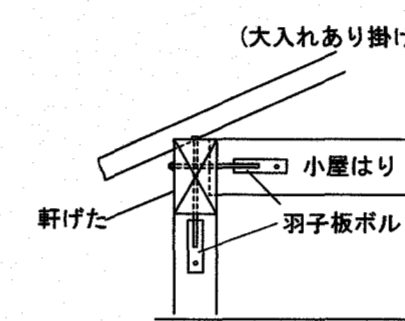
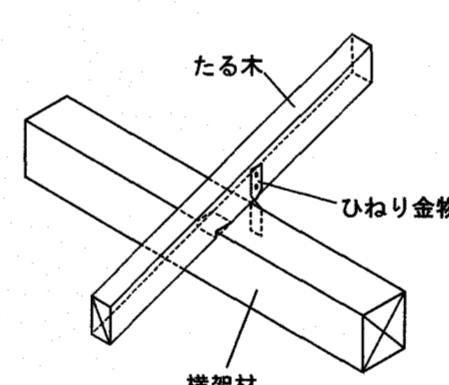
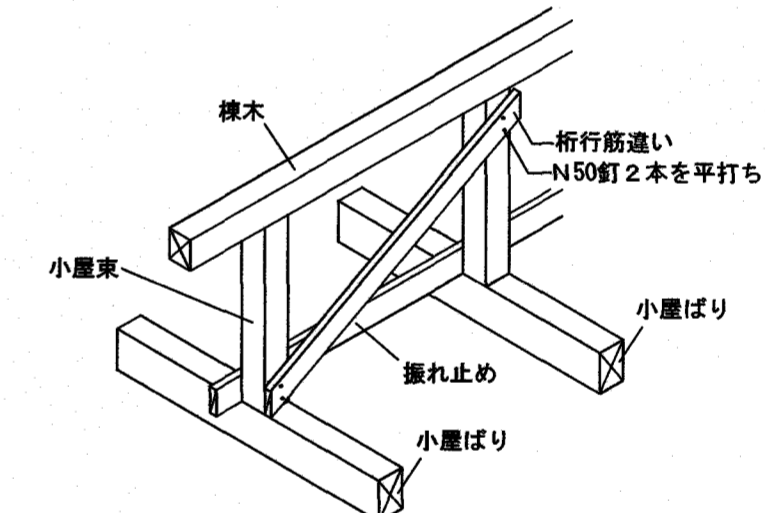
部 位	
金 物	<p>2階階 通し柱・胴差 緊結金物施工箇所標準図</p> <p>① 通し柱 六角ボルト M12 スクリュー釘 ZS50</p> <p>② 通し柱・胴差 緊結金物施工箇所標準図 短ざく金物 S 六角ボルト M12×2本 六角ナット M12×2個 角座金 W4.5×40×2枚 スクリュー釘 ZS50×2本</p>
	<p>通し柱・胴差 緊結金物施工箇所標準図</p> <p>③ 通し柱 六角ボルト M12 スクリュー釘 ZS50</p> <p>④ 通し柱・胴差 緊結金物施工箇所標準図 短ざく金物 S 六角ボルト M12×2本 六角ナット M12×2個 角座金 W4.5×40×2枚 スクリュー釘 ZS50×2本</p>
	<p>2階階 通し柱・胴差 緊結金物施工箇所標準図</p> <p>⑤ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力15Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑥ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力20Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑦ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力25Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑧ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力35Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑨ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD15×2 両引きボルト M16 六角ナット M16×2個 フラット角座ボルト M12×3本×2 六角ナット M12×3個×2 パネ付丸座金 W4.5×3枚×2</p> <p>⑩ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD20×2 両引きボルト M16 六角ナット M16×2個 フラット角座ボルト M12×4本×2 六角ナット M12×4個×2 パネ付丸座金 W4.5×4枚×2</p> <p>⑪ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD25×2 両引きボルト M16 六角ナット M16×2個 フラット角座ボルト M12×5本×2 六角ナット M12×5個×2 パネ付丸座金 W4.5×5枚×2</p> <p>⑫ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD35×2 両引きボルト M16 六角ナット M16×2個 専用角ビットビス TB-66D 15本×2 パネ付丸座金 W4.5×5枚×2</p>
	<p>2階階 通し柱・胴差 緊結金物施工箇所標準図</p> <p>⑬ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力15Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑭ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力20Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑮ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力25Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑯ フラットボルト M12 ホールダウン金物 耐力35Kn 引寄せボルト M16</p> <p>⑰ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD15 柱・・・フラット角座ボルト M12×3本 六角ナット M12×3個 フラット丸座金 ×3枚 土台・・・ユニアンカーボルト M16 六角ナット M16</p> <p>⑱ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD20 柱・・・フラット角座ボルト M12×4本 六角ナット M12×4個 フラット丸座金 ×4枚 土台・・・ユニアンカーボルト M16 六角ナット M16</p> <p>㉑ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD25 柱・・・フラット角座ボルト M12×5本 六角ナット M12×5個 フラット丸座金 ×5枚 土台・・・ユニアンカーボルト M16 六角ナット M16</p> <p>㉒ フラットボルト M12 ホールダウン金物 S-HD35 柱・・・専用角ビットビス TB-66D 15本 六角ナット M16 土台・・・ユニアンカーボルト M16 六角ナット M16</p>

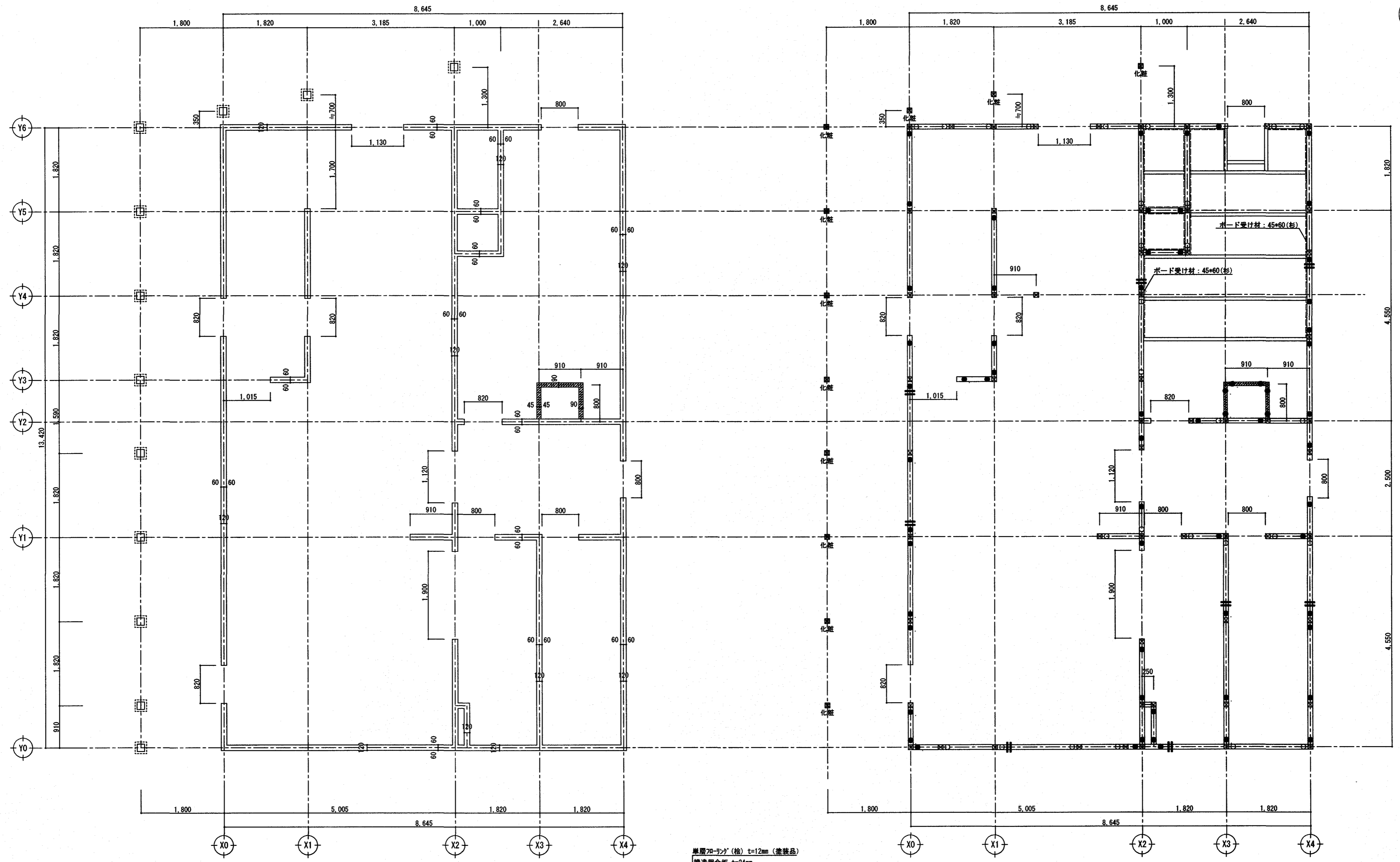
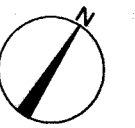
特記仕様書 (木工事) 軸組工法

接合金物				接合金物			
部位	種類・記号	形状・寸法(単位mm) 使用接合具	用途・使い方	部位	種類・記号	形状・寸法(単位mm) 使用接合具	用途・使い方
金物	火打金物 HB	【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金W2.3×30 六角ボルトM12 六角ナットM12 角座金W4.5×40 	◎用途 床組及び小屋組の隅部部の補強 	金物	ひねり金物 ST (右ひねりのみ)	【寸法・形状】 ST-9, ST-12 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	【用途】たるきと軒げた、または、もやとの接合 【使い方】
	ひら金物 SM-12	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65 	◎用途 かすがいと同様の用途 		折曲げ金物 SF (右ひねり及び左ひねり)	【寸法・形状】 右ひねり 左ひねり ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】
	ひら金物 SM-40	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65 	◎用途 管柱の連結等 		筋かいプレート BP	【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルトM12 小型角座金W2.3×30 六角ナットM12 太めくぎZN65 	◎用途 筋かいを柱と横架材に同時に接合角根平頭ボルトM12
	羽子板ボルト SB・E	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルトM12 L=280・310・340 六角ナットM12 370・400・430 角座金W4.5×40 スクリークZS50 	◎用途 小屋ばりと軒桁 軒桁と柱、胴差と通し柱の連結 		くら金物 SS	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】
	かね折り金物 SA	【寸法・形状】 ◎使用接合具 L=210・240・270 六角ボルトM12 300・345 六角ナットM12 角座金W4.5×40 スクリークZS50 	◎用途 通し柱と胴差の取合 		かど金物 CP・L CP・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN65	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】

特記仕様書 (木工事) 軸組工法

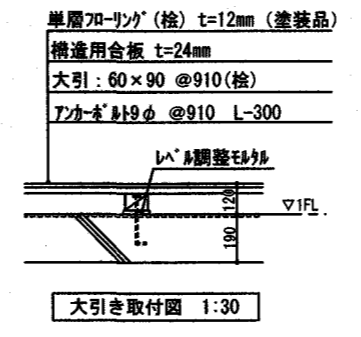
部位	
小屋梁	<p>材種 はり(見え掛り材) <input type="checkbox"/> べいまつ <input type="checkbox"/> くらまつ <input type="checkbox"/> あかまつ <input checked="" type="checkbox"/> その他(桧)</p> <p>はり(見え隠れ材) <input type="checkbox"/> べいまつ <input type="checkbox"/> くらまつ <input type="checkbox"/> あかまつ <input checked="" type="checkbox"/> その他(杉)</p> <p>工法 1. 末口150mm以上の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を植え込み、</p> <p>2. 末口150mm以下の継手は、受け材上でやりちがいとし、六角ボルト(M12)2本締めとする。</p> <p>3. 軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと継ぎ又は渡りあごとし、羽子板ボルト締めとする。</p>
小屋束	<p>材種 <input checked="" type="checkbox"/> すぎ <input type="checkbox"/> あかまつ <input type="checkbox"/> くらまつ <input type="checkbox"/> べいまつ <input type="checkbox"/> からまつ <input type="checkbox"/> べいつが <input type="checkbox"/> その他(桧)</p> <p>工法 上部・下部の仕口は、短柄差しとし、かすがい両面打ちとする。</p>
棟木・母屋	<p>材種 <input type="checkbox"/> べいまつ <input type="checkbox"/> べいつが <input type="checkbox"/> くらまつ <input type="checkbox"/> あかまつ <input type="checkbox"/> からまつ <input type="checkbox"/> すぎ <input checked="" type="checkbox"/> その他(桧)</p> <p>工法 垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し(L=720)腰掛け継ぎとする。</p>
桁すじかい・振れ止め	<p>材種 <input checked="" type="checkbox"/> すぎ <input type="checkbox"/> あかまつ <input type="checkbox"/> くらまつ <input type="checkbox"/> べいまつ <input type="checkbox"/> からまつ <input type="checkbox"/> べいつが <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>工法 束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。</p> <p>振れ止めの断面寸法は貫程度とする。</p>
垂木	<p>材種 <input checked="" type="checkbox"/> ひのき <input type="checkbox"/> べいまつ <input type="checkbox"/> べいつが <input type="checkbox"/> すぎ <input type="checkbox"/> くらまつ <input type="checkbox"/> あかまつ <input type="checkbox"/> からまつ <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>工法 1. 継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。</p>

部位	<p>継手及び仕口の参考例</p> <p>小屋梁の継手(台持継ぎ)</p>  <p>小屋梁と軒桁との仕口(かぶとあり)</p>  <p>小屋梁と軒桁との仕口(渡りあご)</p>  <p>(大入れあり掛け)</p>  <p>(注) 羽子板ボルトについては、施工性を考えて、軒げたとはり、軒げたと柱を一定間隔ごとに交互に緊結する。</p>
垂木	<p>たる木とひねり金物の施工例</p>   <p>振れ止めの断面寸法は貫程度とする。</p>
棟木・母屋	



基礎伏図 S=1:60

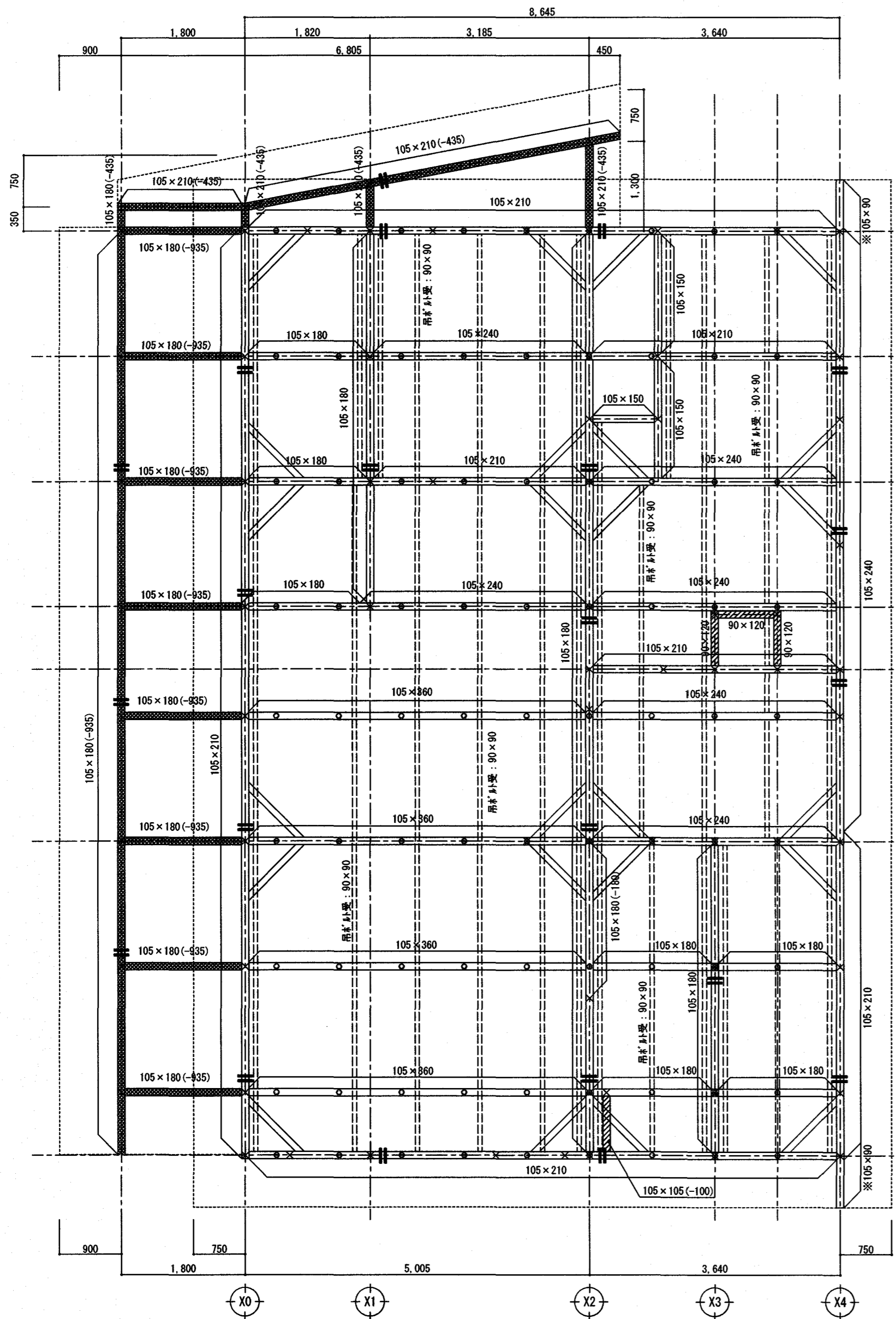
凡例	
	基礎：巾120、立上り1FL+100
	基礎：巾90、立上り1FL+100



床伏図 S=1:60

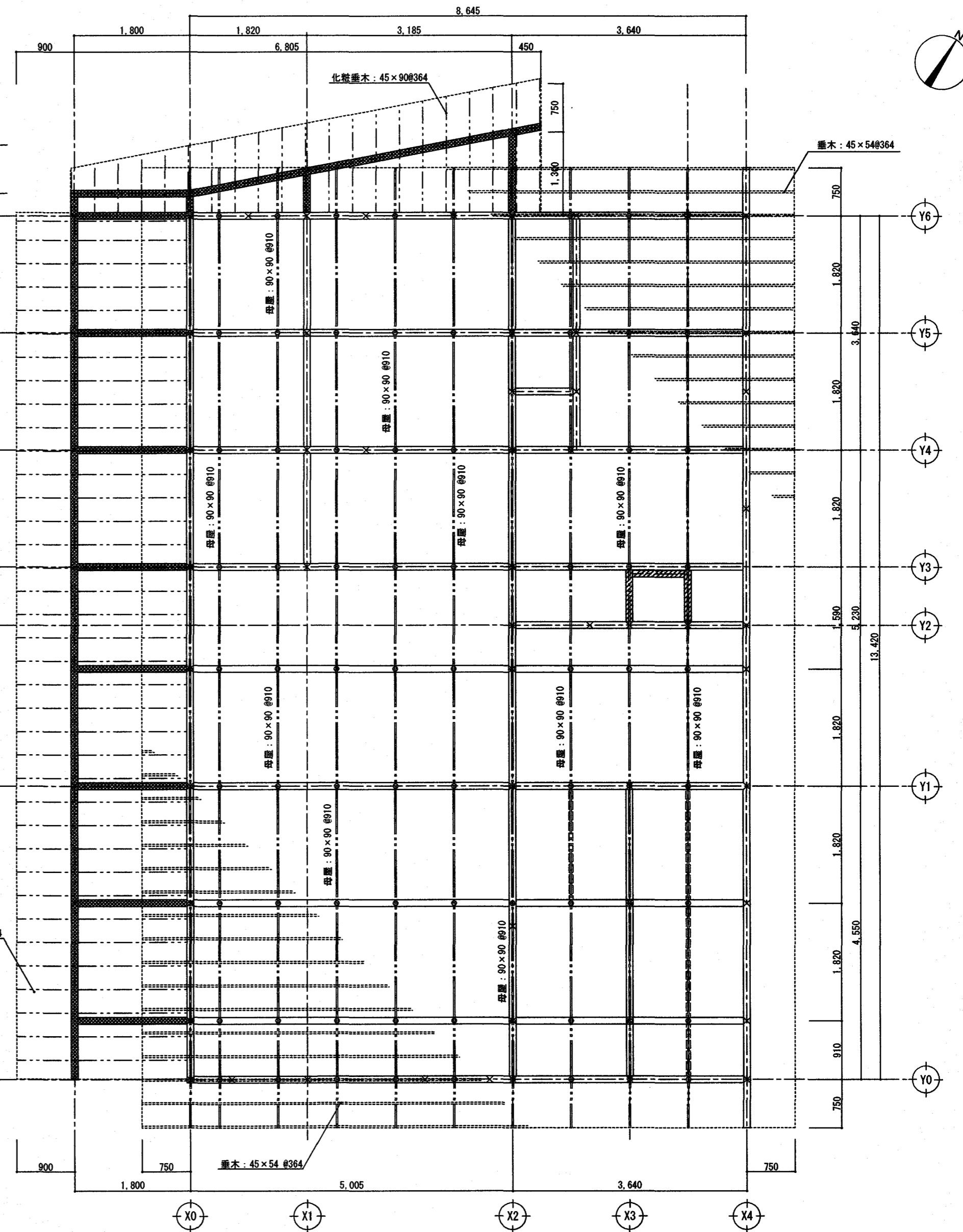
凡例	
●	アンカーボルト 12φ L-400
○	アンカーボルト 16φ L-600
—	継手
	土台：105×105 栓 FL+225
	土台：75×75 栓 FL+95
	大引：60×90 @910 栓
	柱：105×105 杉
	化粧柱：105×105 栓

基準強度 (N/mm ²)						
等級	Fc	Ft	Fb	Fs	Fm	Young's Modulus
無時効製材 杉	17.7	13.5	22.2	1.8	6.0	E=70 相当
無時効製材 栓	20.7	16.2	26.7	2.1	7.8	E=90 相当



梁伏図 S=1:60

凡例	
×	柱位置示す 105×105 杉
○	小屋束位置 90×90 杉
—	化粧梁を示す 桧
////	頭つなぎ 杉
==	吊材付受 90×90 杉
///	火打梁 90×90 杉
	継手



小屋伏図 S=1:60

凡例	
×	柱位置示す 105×105 杉
○	小屋束位置 90×90 杉
-----	垂木 45×54 #364 桧
----	化粧垂木 45×90 #364 桧
—	母屋 90×90 #910 桧
—	化粧梁を示す 桧
////	頭つなぎ 90×120 杉
	継手

等級	基準強度 (N/mm ²)					Young's Modulus (E)
	F _o	F _t	F _b	F _s	F _m	
無等級製材 杉	17.7	13.5	22.2	1.8	6.0	E=70 相当
無等級製材 桧	20.7	16.2	28.7	2.1	7.8	E=90 相当

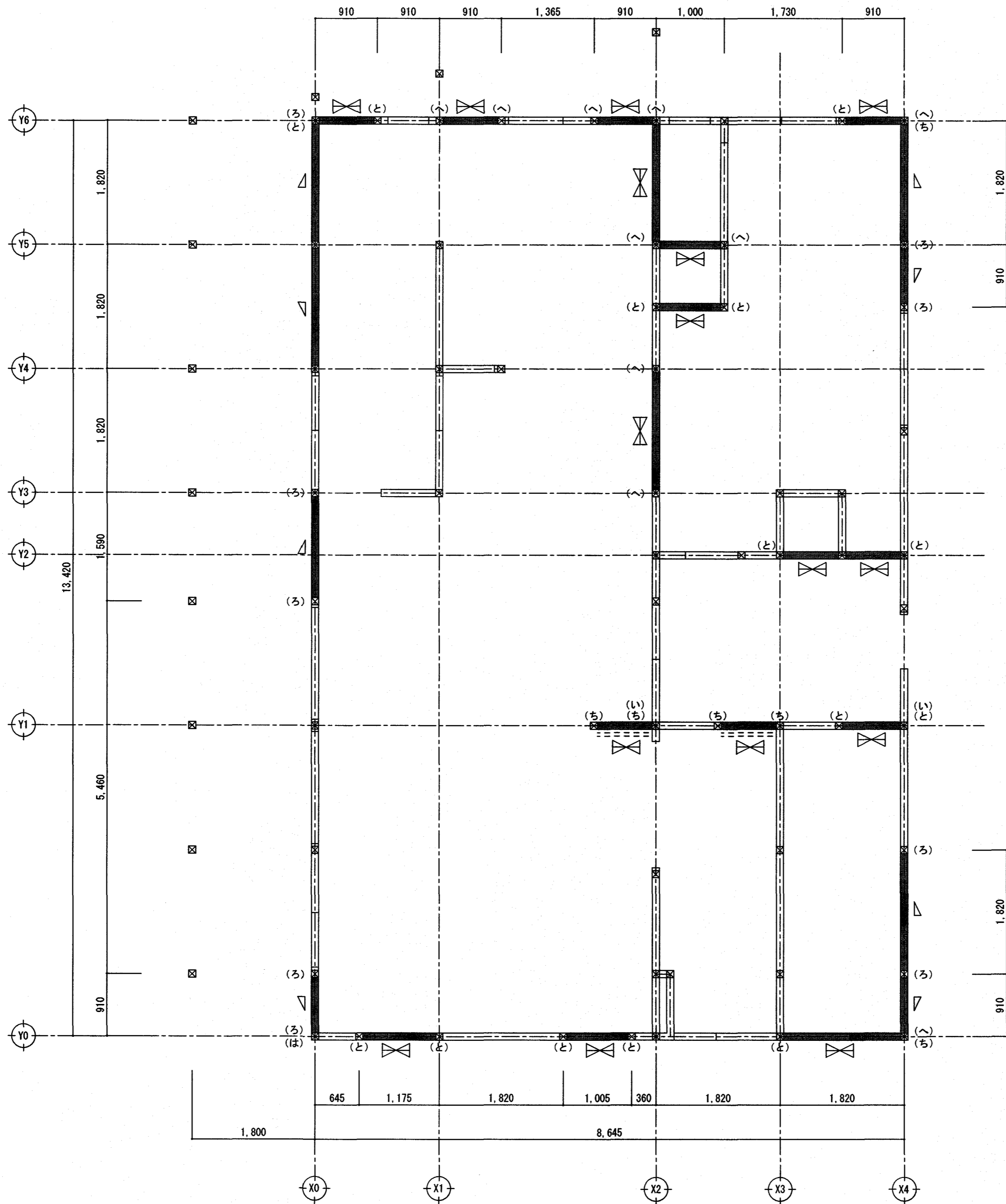
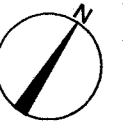
備考
 ※1 小屋表には、小屋筋交い(杉15×90)を取付ける。
 母屋方向は母屋間隔、折行方向では@1820で取付とする。
 ※2 X4通りの梁について、端部を105×90に欠いて軒天井内に納める。

高知市都市建設部公共建築課
 係長 保長 課長補佐 課長
 小 菅 松 村

とさやま保育園調理室棟新築工事
 設計図

三建設計有限公司
 高知市知寄町1-5-1
 一級建築士第135971
 登録高-6号
 TEL 883-1761 FAX 883-1633
 安並和文

図面名称 梁伏図、小屋伏図
 縮尺 S=1:60
 年 月 日 理 由
 編 号 WS-09

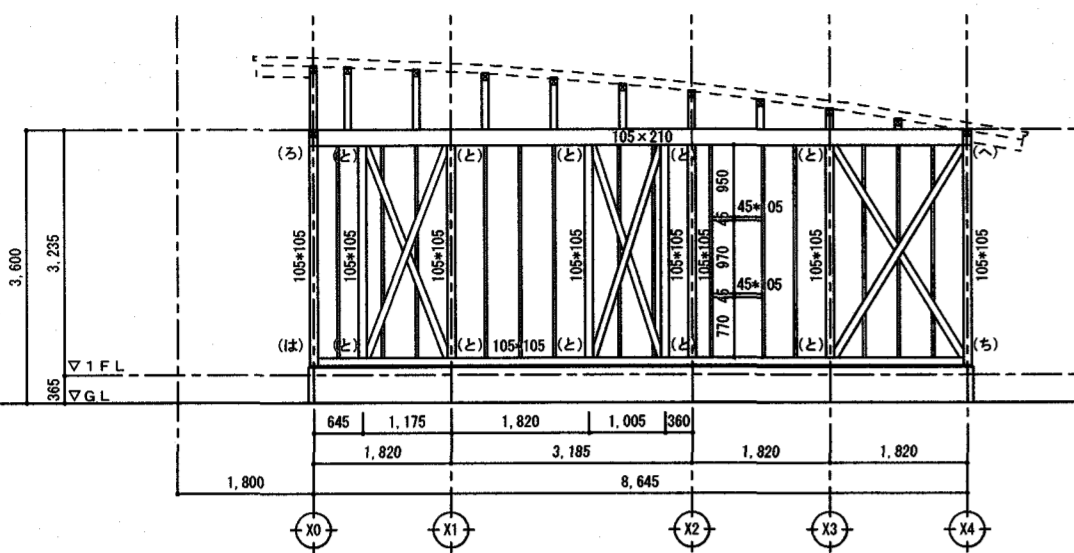


使用金物		
告示表示	金物仕様	必要耐力 (kN)
(い)	カスガイ	1.08
(ろ)	かど金物	3.38
(は)	山形プレート又はかど金物	5.07
(へ)	10kN引き寄せ金物	10.00
(と)	15kN引き寄せ金物	15.00
(ち)	20kN引き寄せ金物	20.00

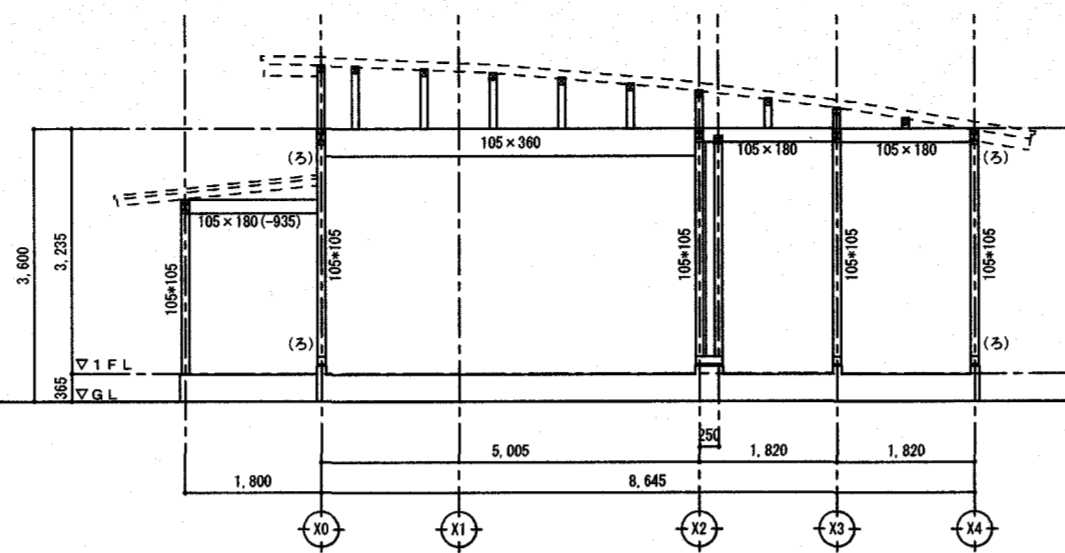
※図示が無い柱頭柱脚は共に(い)とする。
 ※外部廊下化粧柱の柱脚については別途金物とする。

凡例	
	筋交いダブル 90×45(杉)、筋交いプレート(BP-2)
	筋交いシングル 90×45(杉)、筋交いプレート(BP-2)
	構造用合板 t=12mm
(柱頭) □	仕様記号 (柱頭、柱脚で異なる場合は2段に表示)
(柱脚) □	

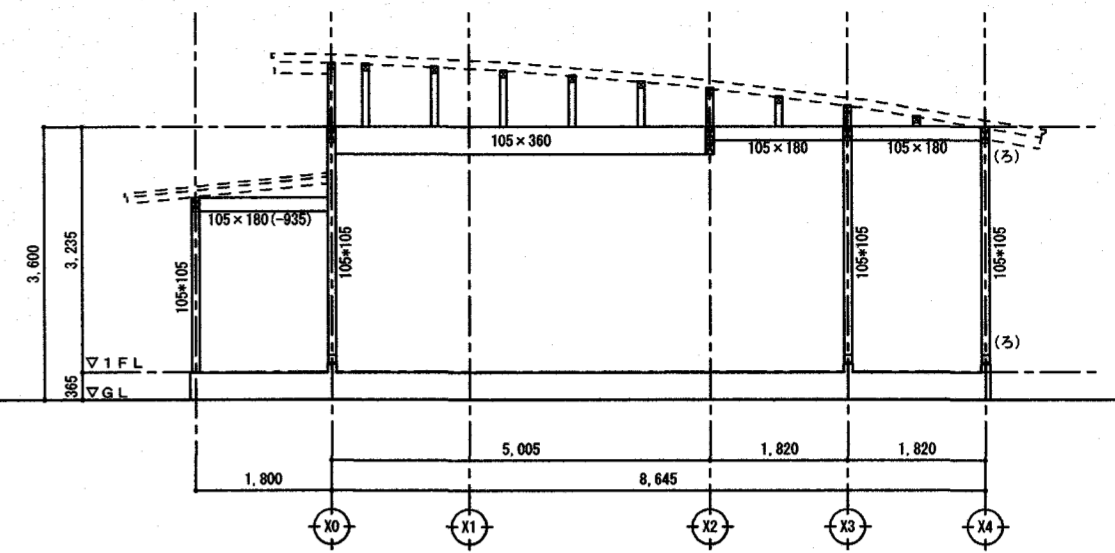
筋違・金物平面図 S=1:50



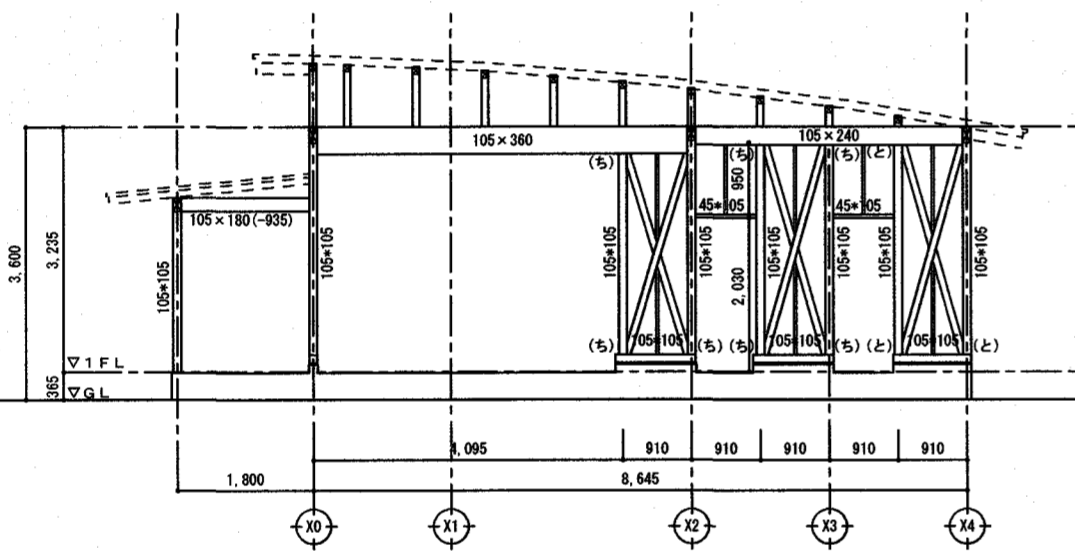
Y0通り軸組図 S=1:100



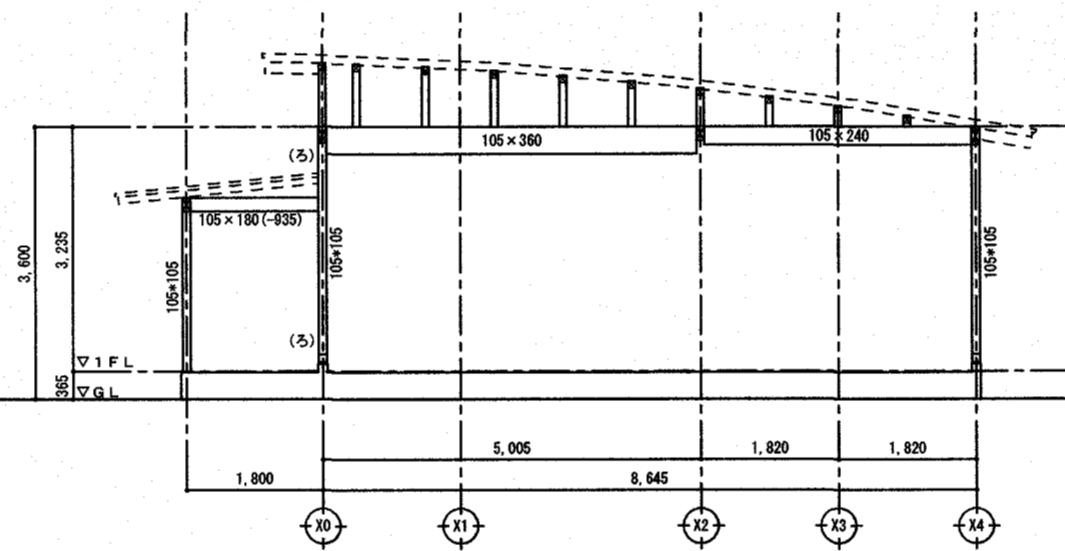
Y0+910通り軸組図 S=1:100



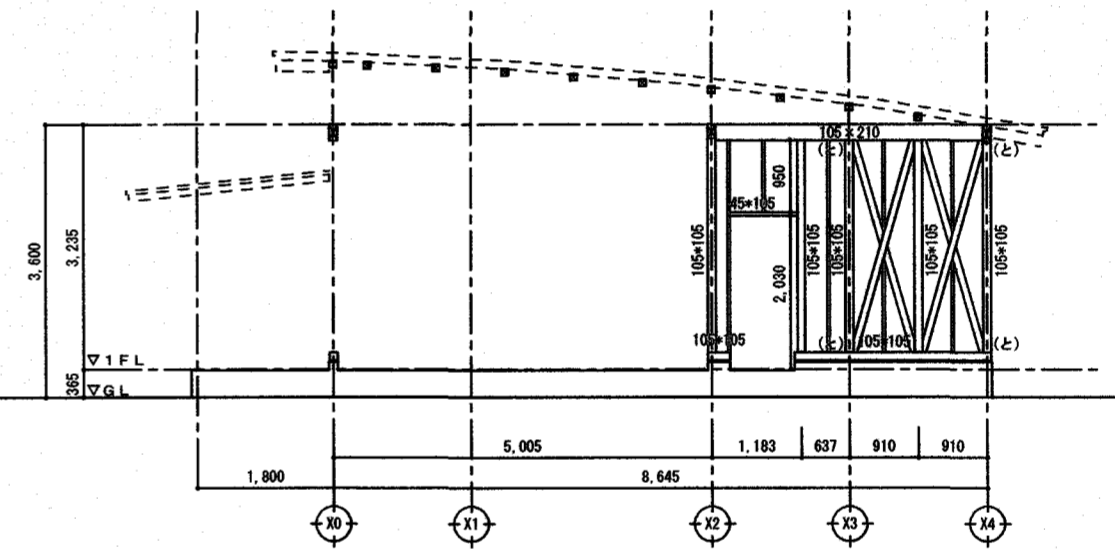
Y0+2730通り軸組図 S=1:100



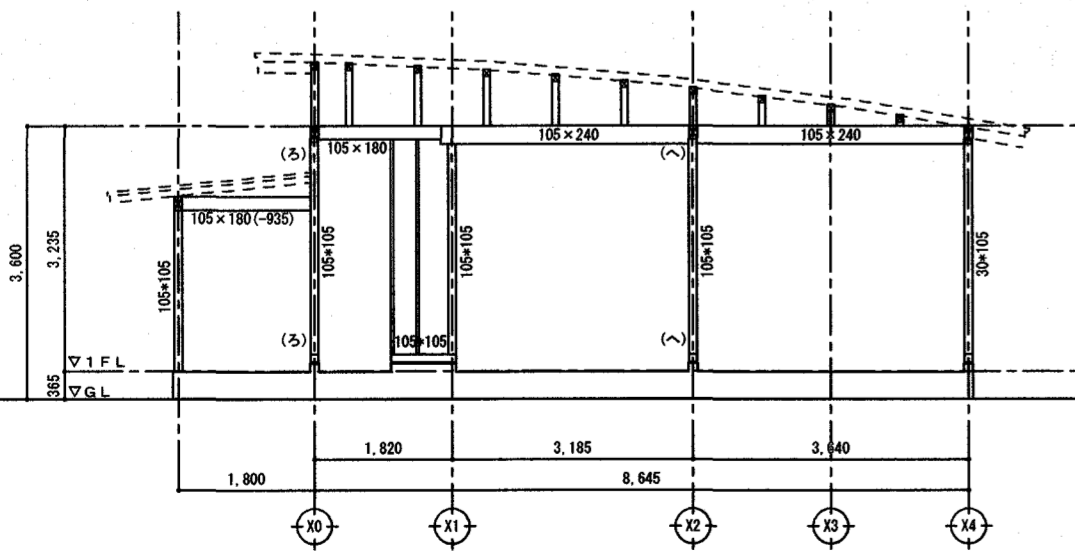
Y1通り軸組図 S=1:100



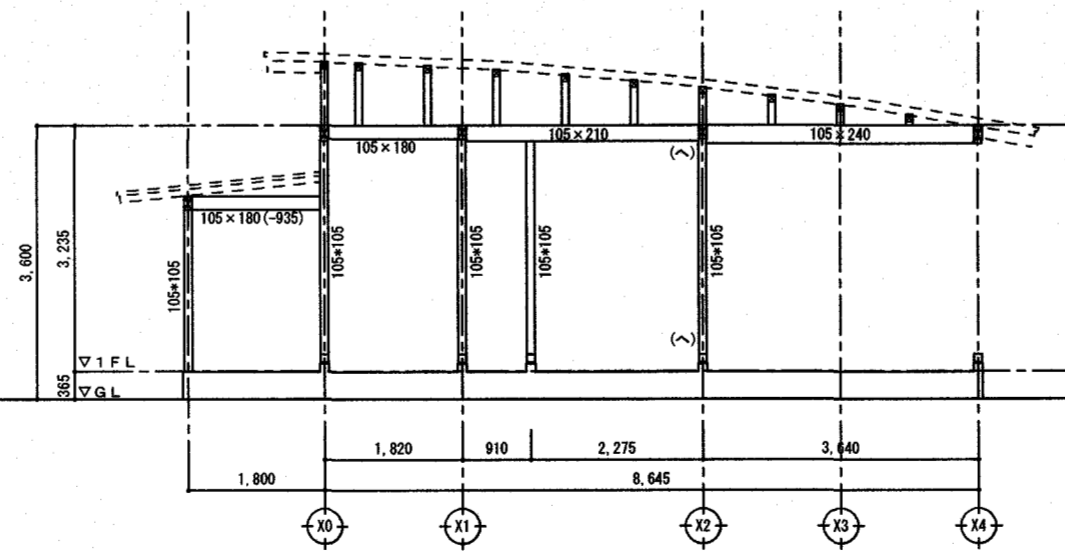
Y1+1820通り軸組図 S=1:100



Y2通り軸組図 S=1:100



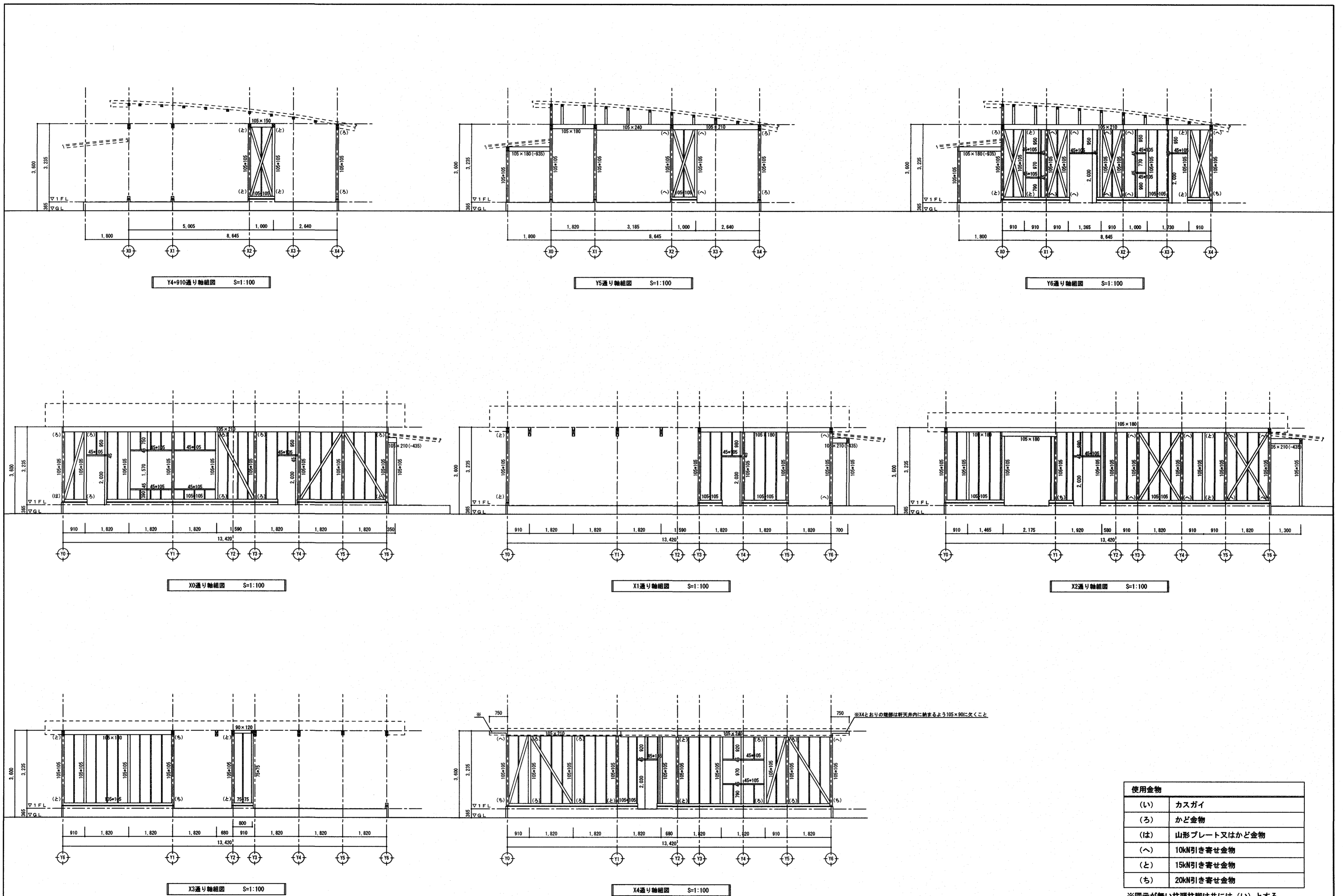
Y3通り軸組図 S=1:100



Y4通り軸組図 S=1:100

使用金物	
(い)	カスガイ
(ろ)	かど金物
(は)	山形プレート又はかど金物
(へ)	10kN引き寄せ金物
(と)	15kN引き寄せ金物
(ち)	20kN引き寄せ金物

※図示が無い柱頭柱脚は共には (い) とする。



使用金物	
(い)	カスガイ
(ろ)	かど金物
(は)	山形プレート又はかど金物
(へ)	10kN引き寄せ金物
(と)	15kN引き寄せ金物
(ち)	20kN引き寄せ金物

※図示が無い柱頭柱脚は共に(い)とする。

備考	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称	軸組図(2)
	係	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:100	
							高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:100	NO. WS-12
							一級建築士第135971	安並和文		年月日 発注	縮尺